

Copyright ©2003

版權所有 印刷:台湾

G-MAX™ N601ノートブックユーザーズマニュアル

初版発行: 2003/12

このマニュアルの指示に従って、新しいノートブックPCをセットアップし使用してください。マニュアルの情報は万全を期してチェックされていますが、将来予告なしに変更することがあります。

このマニュアルのいかなる部分も、書面による事前の許可なしには、いかなる条件下でも、本製品の一部および全部を無断で複製することを禁止します。

## 商標

本書で使用されている製品名は識別のためのもので、それぞれの会社の商標です。

Microsoft®、MS-DOS、Windows ®、Windows ® Sound SystemはMicrosoft Corporationの商標です。

Intel®、Centrino™、Pentium ® M、Banias、CalexicoはIntel Corporationの登録商標です。

Sound Blaster、Sound Blaster ProはCreative Technologyの商標です。

本書に記載したその他のブランドまたは製品名はすべて、それぞれの会社の商標または登録商標です。

## 安全に関する指示

次の安全ガイドラインを使用して、自分自身とコンピュータを保護してください。

### コンピュータを使用しているとき



注意：ポータブルコンピュータを体に置いたまま、長時間操作しないでください。台に熱が生じることがあります。

そのため皮膚に長時間接触していると、やけどの原因となります。

- コンピュータを自分で修理することはおやめください。常に、取り付けに関する指示に従ってください。
- ポケット、財布、または金属物体(車のキーなど)がバッテリーの端子をショートさせる可能性のあるその他の容器に入れてバッテリーを持ち運ばないでください。その結果として生じる過剰な電流が極度の高温を出し、燃焼により損傷を被ることがあります。
- AC アダプタの電源ケーブルの上にも乗っていないことを、そしてケーブルを踏んだりつまずいたりしないように配線されていることを確認してください。
- AC アダプタは、コンピュータを実行したりバッテリーの充電のために使用するとき、デスクトップや床の上など、通気のいい場所に配置してください。紙や冷却効果を抑えるその他のアイテムで AC アダプタを覆わないでください。また、キャリングケースに入れているときに AC アダプタを使用しないでください。
- コンピュータの通気孔や開口部に物体を押し込まないようにしてください。内部コンポーネントがショートして、火災や感電の原因となります。
- このコンピュータでの使用を承認された AC アダプタとバッテリーのみを使用してください。他のタイプのバッテリーや AC アダプタを使用すると、火災や爆発の恐れがあります。
- バッテリーを正しいものと交換しないと爆発の危険があります。
- 交換する際は、メーカーが推奨するバッテリーと同じものまたは同等のものだけを使用するようにしてください。
- 使用済みバッテリーは、メーカーの指示に従って処分してください。
- コンピュータを電源に接続する前に、AC アダプタの電圧定格が使用可能な電源の定格に一致していることを確認してください。
  - 北米と南米のほとんどの国、および韓国や台湾などの一部の極東の国では、115 V/60 Hz。
  - 東日本では 100 V/50 Hz、西日本では 100 V/60Hz。
  - ヨーロッパ、中東、極東のほとんどの国では 230 V/50 Hz。
- AC アダプタに延長ケーブルを使用する場合、延長ケーブルに差し込まれた製品の総アンペア定格が延長ケーブルのアンペア定格を超えていないことを確認してください。
- コンピュータから電源を取り外すには、コンピュータの電源をオフにし、コンセントから AC アダプタを抜き、バッテリーを取り外します。
- 感電の危険を避けるために、雷の鳴っている間はケーブルの抜き差しおよび本製品のメンテナンスや再構成を行わないようにしてください。
- バッテリーを火の中に廃棄しないでください。爆発することがあります。処分方法については、地方自治体にお問い合わせください。

- 作業のためにコンピュータをセットアップするときは、平らな面に置いてください。
  - ご旅行の際は、コンピュータを荷物として預けないでください。コンピュータは X 線装置に通すことはできますが、金属探知機には絶対に通さないでください。コンピュータを手を持って搭乗するとき、コンピュータの電源をオンにするように求められることがあるため、必ずバッテリーを充電しておいてください。
  - コンピュータからハードドライブを取り外して旅行するとき、ドライブを布や紙などの非伝導素材にくるんでください。ドライブを手を持って搭乗手続きをするとき、いつでもドライブをコンピュータに取り付けられるようにしてください。ハードドライブは X 線装置に通すことはできますが、金属探知機には絶対に通さないでください。
  - 旅行するとき、コンピュータを傾く可能性のある頭上の収納部に入れないでください。コンピュータを落としたり、その他の衝撃を与えないでください。
  - コンピュータ、バッテリー、ハードドライブはほこり、塵、食べ物、液体、極度の低温や高温、直射日光などの、過酷な環境にさらさないでください。
  - 異なる温度または湿度範囲の間でコンピュータを移動するとき、結露がコンピュータ内部に発生することがあります。コンピュータが損傷しないように、コンピュータを使用する前に十分時間をかけて湿気を蒸発させてください。
- ➔ **通知：コンピュータを低温状態から暖かい環境に、または高温状態から涼しい環境に持ち運ぶとき、コンピュータの電源をオンにする前に室温に慣らしてください。**
- ケーブルを抜くときは、コネクタまたはストレーンリリーフの部分を持ち、ケーブル自体を引っ張らないでください。コネクタを抜く際は、コネクタのピンが曲がらないように均一にまっすぐ引っ張ってください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが正しい向きにきちんと揃っていることを確認してください。
  - コンピュータのクリーニングを行う前に、電源をオフにし、電源からプラグを抜き、バッテリーを取り外してください。
  - コンポーネントは注意してお取り扱いください。メモリモジュールなどのコンポーネントは、ピンではなく、端をつかんでください。



注意：電話機を使用するとき、火災、感電、負傷の危険を少なくするために、常に次の基本的な安全措置を取る必要があります。

- 本製品をバスタブ、洗面器、キッチン、流し、洗濯機などの水場の傍、塗れた地下、水泳プールの傍で使用しないでください。
- 雷が鳴っている間、電話(コードレスタイプを除く)は使用しないでください。雷により感電する危険があります。
- ガス漏れがある場合、漏れの付近では電話を使用して報告しないでください。
- 本書に記載された電源コードのみを使用してください。

## 規制通告

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。

本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。
- この基本装置に接続するすべての外部ケーブルは、シールドされる必要があります。PCMCIAカードに接続するケーブルの場合、オプションのマニュアルまたは取扱説明書をご覧ください。

## 米連邦通信委員会(FCC)

### パート68警告

本装置はFCC基準パート68に準拠しています。コンポーネントの下部には、本装置のFCC登録番号とリンガー等価番号(REN)、その他の情報が含まれています。要請があった場合には、この情報を電話会社へ提供しなければなりません。

FCCパート68登録番号: 6CTTAI - 25876 - FB E

### REN: 0.8B

RENは電話に接続できるデバイスの数を決定するときに、また番号が呼び出されているときにそれらのデバイスのベルが鳴る数を決定するときに役に立ちます。すべての地域ではありませんが、ほとんどの地域で、すべてのデバイスのRENの総計は5(5.0)を超えることはできません。RENが決定したように、回線に接続できるデバイスの数を確かめるには、最寄りの電話会社に電話をかけて通話地域の最大RENを決定する必要があります。

お使いのモデムが電話ネットワークに害を及ぼす場合は、電話会社は一時的にサービスの停止を行ってもよいとされています。可能であれば、事前に通知されます。しかし、そうでない場合は、できる限り早く通知されます。FCCに不満を訴える権利があることも通知されます。

電話会社はその設備、機器、操作、手順などを変更する場合があります、それが本機器の正しい作動に影響を与える場合があります。変更を行う場合は、とぎれない電話サービスを維持するためにも事前に通知されます。

### CE通知(欧州連合)

記号 **CE** によるマーキングは、このN601コンピュータがEMC指令および欧州連合の低電圧指令に準拠していることを示しています。このようなマーキングは、このN601システムが次の技術標準に適合していることを示しています。

- EN 55022 「情報テクノロジー機器の無線周波数特性の制限と測定方法」
- EN 55024 「情報テクノロジー機器」 - 免責特性 - 制限と測定方法」
- EN 61000-3-2 「電磁気の互換性」(EMC) - Part 3: 制限 - 第2項: 調和的電流放出(装置の入力電流は1フェーズあたり最大16 A)。
- EN 61000-3-3 「電磁気の互換性」(EMC) - Part 3: 制限 - 第3項: 最大16 Aの定格電流を持つ装置に対し、電圧フリッカおよび低電圧供給システムのフリッカの制限」
- EN 60950 「情報テクノロジー機器の安全性」



注: EN 55022放出要件は次の2つの分類を提供します:

- Class Aは標準的な商業地域です。
- Class Bは標準的な住宅地域です。

どの分類がお使いのコンピュータに適用されるかを決定するには、コンピュータ背面に貼られているFCC登録ラベルを調べてください。ラベルがClass A定格を示している場合、次の警告がコンピュータに適用されます。

**RF障害警告: これはClass A製品です。住宅環境で、本製品は無線周波数(RF)妨害の原因となることがあります。その場合、ユーザーは適切な措置を取る必要があります。**

このN601デバイスは、標準のClass B住宅環境での使用に対して分類されています。

上記の指令と標準に従う「適合宣言」はGigabyte Computer Corporationで作成され、ファイリングされています。

### CCC通知(中国のみ)

Class Aシステムでは、次の警告は規制ラベルの傍にあります。

**警告: これはClass A製品です。住宅環境で、本製品は無線妨害の原因となることがあります。その場合、ユーザーは適切な措置を取る必要があります。**

#### 声明

此为A级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰  
在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施

#### BSMI通知(台湾のみ)

ほとんどのN601コンピュータは規格・計測・検査局:Bureau of Standards, Meteorology and Inspection (BSMI)によりClass Bの情報テクノロジー機器(ITE)として分類されています。



R 31199

このN601デバイスは、標準のClass B住宅環境での使用に対して分類されています。

#### カナダのDOC通知

このデジタル機器は、カナダ通信省の無線電波妨害で規定された、デジタル機器からの電波雑音放出に対するClass Bの制限を越えていません。

"Le présent appareil numérique n'émet pas de bruits radioélectriques dépassant les limites applicables aux appareils numériques de la class B prescrites dans le Règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par le ministère des Communications du Canada"

#### Macrovisionの通知ライセンス

本製品は著作権保護テクノロジーを組み込んでおり、Macrovision Corporationおよびその他の権利所有者が所有する、一部の米国特許およびその他の知的権利の方法と請求により保護されています。この著作権保護テクノロジーの使用はMacrovision Corporationにより許可される必要があり、Macrovision Corporationの許可がない限り、家庭およびその他の制限された表示に使用することを意図しています。分解のリバースエンジニアリングは禁止します。



## 目次

序章.....	1
ノート型コンピュータの接続.....	2
取扱とメンテナンス.....	4
<b>1 本機の使用にあたり.....</b>	<b>5</b>
本機の機能.....	6
状況インジケータ.....	14
キーボード.....	15
キーボード人間工学設計.....	19
タッチパッド.....	19
多機能ボタン.....	21
ストレージ.....	22
接続オプション.....	24
オーディオ.....	26
AV コントロール・パネル.....	26
ミュージックプレーヤーの使用.....	30
電源オフモードでのミュージックファイルの再生.....	30
コンピュータの安全保護.....	32
安全保護ノッチ.....	32
<b>2 バッテリ電源の操作.....</b>	<b>34</b>
バッテリーパック特性.....	35
電源管理.....	39
<b>3 周辺機器およびオプション.....</b>	<b>40</b>
外部モニタ.....	41
S-ビデオ.....	42
外付キーボード.....	42
外部ポイントデバイス.....	43
プリンタ.....	43
オーディオデバイス.....	44
PC カード.....	44
USB デバイス.....	46
IEEE 1394 デバイス.....	47
その他のオプション.....	48
主要コンポーネントのアップグレード.....	48
<b>4 コンピュータを携帯して使用する.....</b>	<b>49</b>
デスクトップから外す.....	50
持ち歩く.....	50
本機を自宅に持ち帰る.....	50
本機を旅行先に携帯する.....	52
本機を国外に携帯する.....	52
<b>5 トラブルシューティング.....</b>	<b>54</b>
よくある質問.....	55
仕様 A.....	57

## 序章

このノート型コンピュータには、Cardbus、内部ポイントデバイス、IEEE1394およびユニバーサル・シリアル・バスがポータブルパックに装備されています。

本取扱説明書では、このノート型コンピュータを日々お使いの中で、出てくる質問のほとんどのに答えられています。

オンライン・ヘルプ・ファイルも、出荷時にお手許のコンピュータに装備されているプログラムほとんどすべてで、ご利用いただけます。

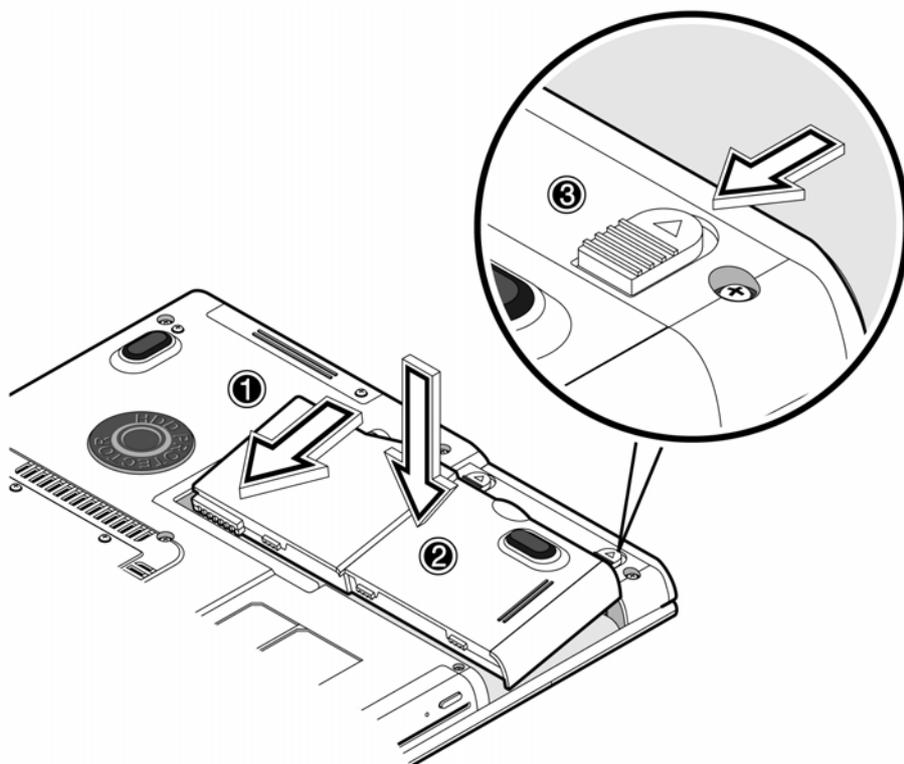
ノート型コンピュータが、ご希望どおりにお使いいただけることと思います。取扱さえ適切であれば、コンピュータは、長年生産的にご利用いただけます。

2003年12月

## ノート型コンピュータの接続

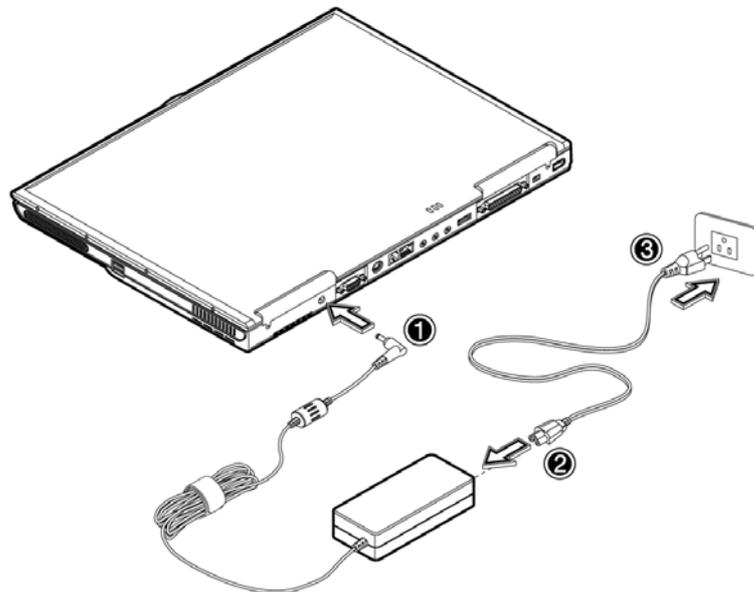
ノート型コンピュータの接続は、1-2-3の手順で簡単にできます。

1. 角度を付けてバッテリーを挿入し(1)、バッテリーが正しい位置にカチッとハマるまで(2)押し込みます。次に、ロック/ロック解除ラッチをロック位置にスライドさせます(3)。

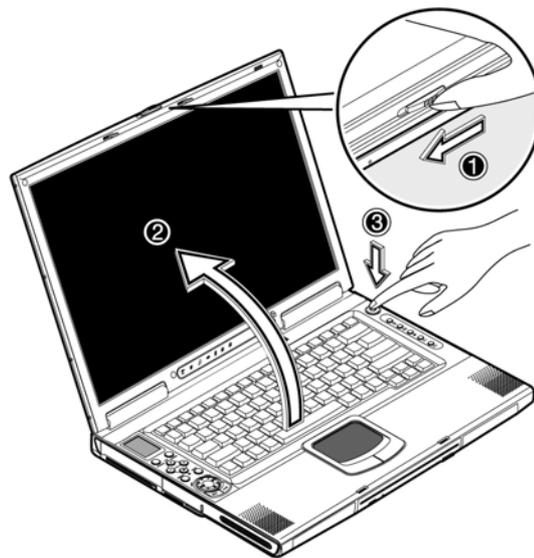


注意：バッテリーパックをはじめて使用する場合は、バッテリーを完全充電してください。また、もう一度充電する前には、アダプタを外して、バッテリーを使い切ってください。バッテリーパックを調整するために、この操作を2回繰り返します。

2. ACアダプタの1端をノート型コンピュータの裏パネルにあるDCインポートに、もう一端を適切に接地した電源コンセントに接続します。



3. ディスプレイ・カバー・ラッチを左に(1)スライドさせ、ディスプレイを開きます(2)。電源スイッチ(3)を押して、電源を入れます。POST(自動テスト電源)ルーチンが実行され、Windowsがロードを開始します。



注意：電源を切る場合、Windowsの[電源を切る]コマンドを使って、コンピュータをシャットダウンすることを推奨します。通常手順でコンピュータのシャットダウンができない場合は、電源スイッチを4秒以上押し続け、コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源を切って、もう一度入れる場合は、最低2秒待ってから電源を入れてください。

## 取扱とメンテナンス

### コンピュータの取扱

- コンピュータは直射日光に当てないでください。放射線等の加熱源の近くに置かないでください。
- コンピュータを摂氏5（華氏41）以下40（104）以上の温度に晒さないでください。
- コンピュータは電磁気に当てないでください。
- コンピュータは雨や湿気に当てないでください。
- コンピュータ上に水や液体をこぼさないようにしてください。
- コンピュータに大きな衝撃や振動を与えないでください。
- コンピュータは埃や汚れのあるところに置かないでください。
- コンピュータの破損を避けるために、本機上には絶対物を置かないでください。
- 表面が安定していない場所に本機を絶対置かないでください。

### ACアダプタの取扱い

ACアダプタの手入れには、いくつか注意点があります。

- アダプタを他の装置に接続しないでください。
- 電源コードの上に乗ったり、その上に重いものを置かないでください。電源コードおよびケーブルは、すべての考えられるトラフィックから慎重に巻き上げてください。
- 電源コードをプラグから外すときは、コードを引っ張らずに、プラグ本体を引いてください。
- 延長コードを使用している場合、プラグ接続した装置の合計アンペア定格は、コードのアンペア定格を超えてはいけません。また、壁にある1つのコンセントに接続してある装置全ての合計電流定格は、フューズ定格を超えてはいけません。

### バッテリーパックの取扱い

バッテリーパックの取扱いには、いくつか注意点があります。

- 交換品には、同じ種類のバッテリーのみを使用してください。バッテリーを取り外し、交換する前に電源を切ってください。
- バッテリーは不適切な取扱いはしないでください。子供の手の届かないところに置いてください。
- 使用済みバッテリーは、各地方の規制にしたがって、処分してください。可能であれば、リサイクルしてください。

### クリーニングと修理

本機をクリーニングする場合は、次の手順にしたがってください。

1. 本機の電源を切って、バッテリーパックを外します。
2. ACアダプタを外します。
3. 乾いた布を使います。液体またはエロゾールクリーナを使わないでください。

次のいずれかの問題が発生した場合は、取扱店にお問い合わせいただくか、修理技術者にご連絡ください。

- 本機を下に落としたか、本体が破損した
- 本製品内部に液体がこぼれた
- 本機が正常に作動しない

# 1

## 本機の使用にあたり

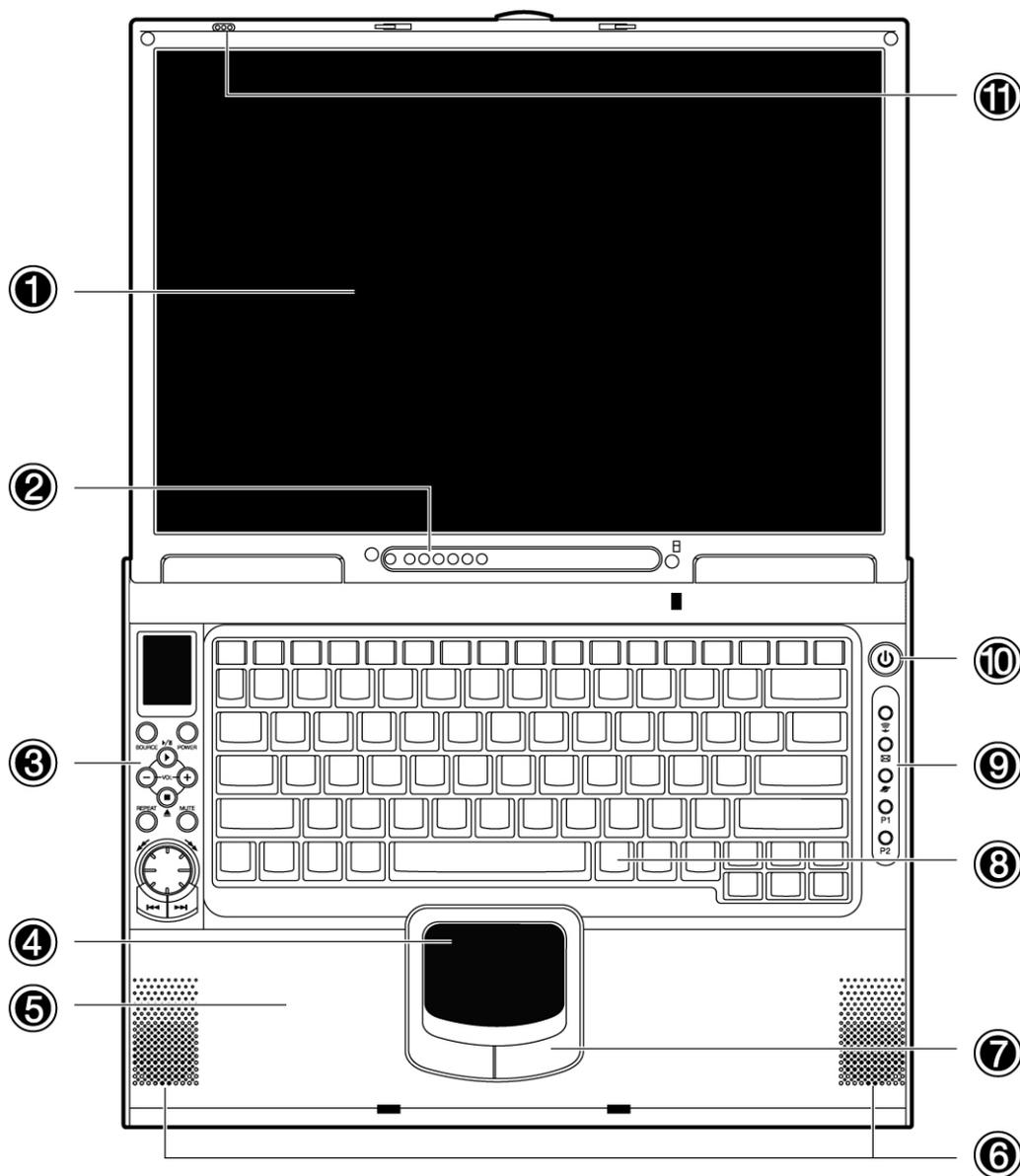
本コンピュータは、高性能、多機能、電源管理機能および独自のスタイルと人間工学にそった設計によるマルチメディア機能を搭載しています。お手持ちの新規電源コンピューティングパートナーと優れた生産性と信頼性で対応します。

本章では、本機の多彩な機能の詳細について“ご案内”します。

## 本機の機能

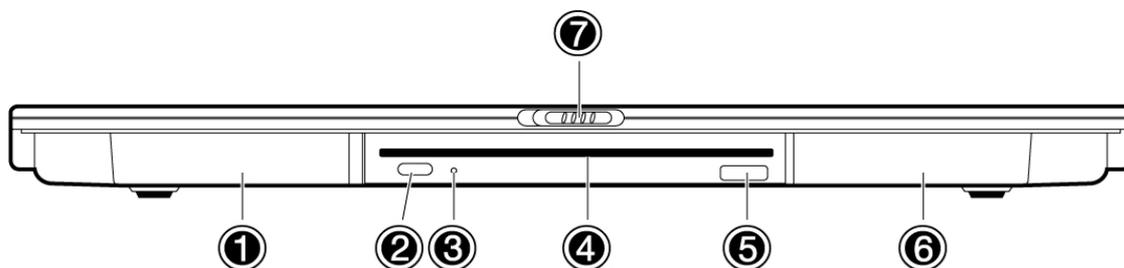
新規ノート型コンピュータについて説明します。

### 上方図



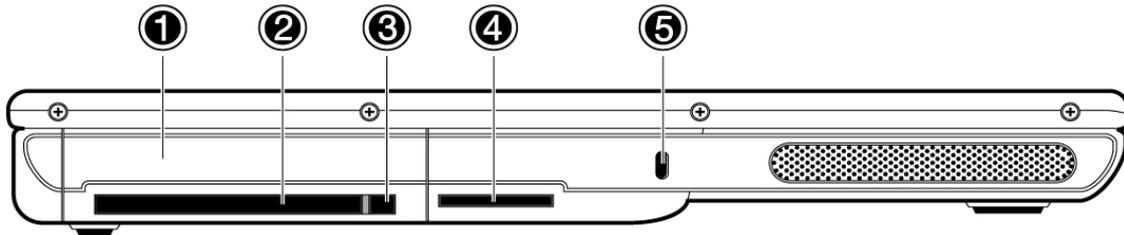
#	項目	アイコン	内容説明
1	LCD パネル		ディスプレイ画面 LCD(液晶ディスプレイ)とも呼ばれ、コンピュータの出力内容を表示します。
2	状況インジケータ		電源がONおよびOFFにすることで、コンピュータの状況および機能とコンポーネントを表示する状況インジケータLED(発光ダイオード)
3	AV コントロール・パネル		オーディオ/ビデオ・メディア再生用のAV コントロール・パネル[コントロール・ボタン]
4	タッチパッド		タッチセンシティブなポイント・デバイスで、機能はマウスと同様
5	パームレスト		コンピュータ使用時に手が疲れないように置くためのエリア
6	スピーカー		音声の出力
7	タッチパッドボタン(左右)		左右ボタンは、マウスの左右ボタンと機能は同様
8	キーボード		キーボードで、コンピュータにデータを入力
9	多機能ボタン		使用頻度の高いプログラムを使用する[開始キー]ボタン詳細は21ページ“多機能ボタン”を参照してください。
10	電源ボタン		コンピュータの電源を入れる
11	マイク		音声をコンピュータに入力する

## 正面図



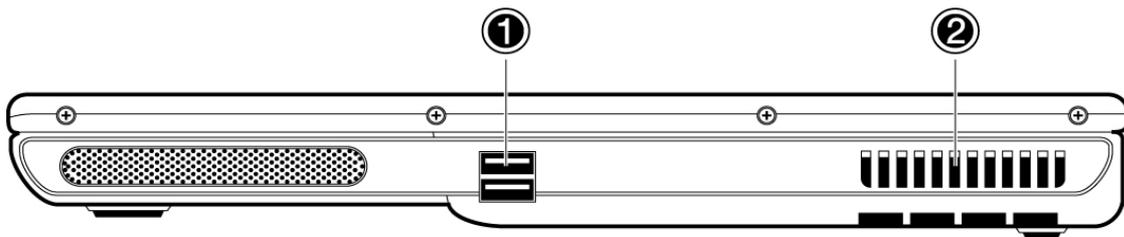
#	項目	内容説明
1	バッテリーキー	本機のバッテリーパックを保管する
2	イジェクトボタン	CD/VCDディスクを取り出す
3	DVD/CD-RW ドライブインジケータ	DVD/CD-RW コンボドライブが有効になっている場合に点灯する
4	DVD/CD-RWドライブ	CDまたはDVD挿入用スロット
5	赤外線センサ	赤外線プリンタ、携帯電話またはPDA等、赤外線装置にデータを送受信する
6	サブウーファ	サブウーファはこのベイに配置してある
7	カバーリリースラッチ	外して、LCDディスプレイを開く

## 左からの図



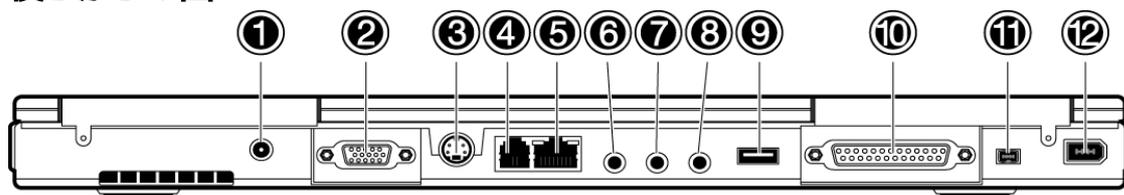
#	項目	アイコン	内容説明
1	ハードドライブ・ベイ		本機のハードディスクを保管する
2	PCカードスロット		Type II 16-ビットPCカード1つまたはZVサポート付32-ビット CardBus PCカードが入る
3	PCカードイジェクトボタン		スロットからPCカードを取り出す
4	SDメモ리카ードスロット		固定デジタル(SD)メモ리카ードを入れる
5	ケンジントンロックスロット		ケンジントン互換コンピュータセキュリティロックに接続する

## 右からの図



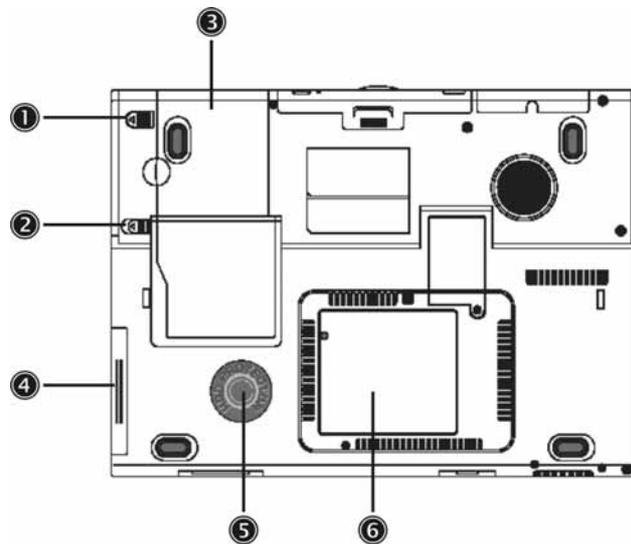
#	項目	アイコン	内容説明
1	USB2.0ポート		USB デバイス(USB Zip ドライブ、プリンタ、スキャナ、キーボードまたはマウス等)をこれらのポートに接続する
2	換気ファン		内部コンポーネントを冷却する これらのスロットを塞いだり、ものを挿入したりしないでください。

## 後ろからの図



#	項目	アイコン	内容説明
1	電源コネクタ		AC アダプタケーブルをこのコネクタに差し込む
2	外部モニタポート		ディスプレイモニタに接続する(最大解像度 2048x1536)
3	S-ビデオポート		テレビまたは S-ビデオ入力付ディスプレイデバイスに接続する
4	モデムジャック		電話回線を接続する(内部 fax/データモデム付モデムのみ対応)
5	ネットワークジャック		イーサネット 10/100 ベースネットワークに接続する
6	マイクインジャック		マイクをこのジャックに差し込む
7	ラインインジャック		オーディオデバイス(ステレオ等)をこのジャックに差し込む
8	ヘッドホンジャック		増幅スピーカーまたはヘッドホンをこのジャックに差し込む 内臓スピーカーは、スピーカーまたはヘッドホンをこのジャックに差し込むと、音が出なくなります。
9	USB ポート		USB デバイス(USB Zip ドライブ、プリンタ、スキャナ、キーボードまたはマウス等)をこれらのポートに接続する
10	パラレルポート		パラレルデバイス(プリンタ等)をこのポートに差し込む
11	IEEE 1394 ポート(4 ピン)		IEEE 1394 デバイス(デジタルビデオカメラ等)をこの 4 ピン IEEE 1394 ポートに差し込む
12	IEEE 1394 ポート(6 ピン)		IEEE 1394 デバイス(デジタルビデオカメラ等)をこの 6 ピン IEEE 1394 ポートに差し込む

## 底からの図



#	項目	アイコン	内容説明
1	バッテリーロックラッチ		スライドさせて、バッテリーのロックを解除する
2	バッテリーリリースラッチ		スライドさせて、バッテリーを取り外す
3	バッテリーキー		バッテリーをこのベイに挿入する
4	ハードドライブ・ベイ		ハードドライブはこのベイに配置してある
5	ハードドライブプロテクション		ハードドライブを偶発的なバンプおよび振動から保護する
6	メモリベイ		メモリモジュールはこのベイには位置してある

## 特長

このコンピュータは、ユーザーが使いやすいように設計されています。多数の特長のいくつかを説明します。

## 性能

- Mobile Intel® Pentium® M Processor - 拡張Intel® SpeedStep™ テクノロジー付M
- 1MB(1024K) オンダイL2キャッシュ
- 15.4" 16:10 SXGA (1280x800)ワイドスクリーン TFT LCDパネル
- 64MBフレームバッファ付ATI® Mobility™ Radeon™ 9600 高性能グラフィックチップセット
- 2 DDR-266/333 SoDIMM付2048MBまでアップグレード可能なオンボードメモリ
- 高容量、拡張IDEハードディスク
- リチウムイオンバッテリーパック
- 電源管理システム
- デュアルディスプレイ機能
- 同時LCDおよびCRTディスプレイ
- LCDパネルは、最大解像度2048x1536までサポート
- VGAモニターは、最大解像度2048x1536までサポート
- 埋め込みTVエンコーダは、最大解像度1024x768までサポート

## マルチメディア

- AVコントロールパネル
- システムオフのSD、HDDまたはオーディオCDによる再生MP3
- オーディオコデックは、18-ビットADC/20-ビットDACをサポート
- AC 97 2.2 準拠ステレオオーディオ
- S/PDIF ラインアウトジャック
- スピーカー2つおよびサブウーファ付拡張オーディオシステム
- 内臓マイク
- スロット負荷またはトレイタイプDVD/CD-RW コンボドライブ
- S-ビデオ出力ポート

## 接続

- 高速fax/データソフトウェアモデム
- オンボードPCI 10/100 Mbps LANサポート
- Intel PRO/ワイヤレス2100(802.11b)ワイヤレスLAN通信
- 高速赤外線無線通信
- USB(ユニバーサルシリアルバス)2.0ポート3つ
- IEEE 1394ポート2つ(ミニポート1つおよび通常ポート1つ)
- オプション802.11g 無線LAN

## 人にやさしい設計および人間工学設計

- 滑らか、スムーズでスタイリッシュなデザイン
- フルサイズキーボード
- 人間工学設計のタッチパッドポイントデバイス
- 開始キー

## 拡張

- アップグレード可能メモリおよびハードディスク
- 固定デジタル(SD)スロット

## ディスプレイ

グラフィックディスプレイは表示、表示品質およびデスクトップ性能グラフィックスに優れています。本機は、スーパー拡張グラフィックスアレイ (SXGA) 解像度で最大1670万色まで表示するワイド画面薄膜トランジスタ (TFT) 液晶ディスプレイ (LCD) をサポートしています。

## 同時表示

本機のクリस्पディスプレイおよびマルチメディア機能は、プレゼンテーションに最適です。必要な場合、プレゼンテーションの際に外部モニタに接続することもできます。本機は、同時LCDおよびCRTディスプレイをサポートしています。同時ディスプレイによって、お手許のコンピュータからプレゼンテーションを管理し、同時に聴衆に向かって話すことができます。大型聴衆を対象としたプレゼンテーション用のLCDプロジェクションパネル等他の出力ディスプレイデバイスを接続することもできます。

## 電源管理

電源管理システムには、“自動LCD暗転”機能が組み込まれ、バッテリー電源を省力化するためにバッテリーパックを電力源とする場合に、コンピュータのLCDを暗くします。電源管理機能についての詳細は、39ページ「電源管理」を参照してください。

## ディスプレイを開閉する

ディスプレイを開くには、ディスプレイカバーラッチを左にスライドさせ、カバーを持ち上げます。次に、表示画面が見やすいように傾けます。2ページの「コンピュータを接続する」を参照してください。コンピュータは、ディスプレイカバーを閉じた場合に、電力を省力化するためにディスプレイをOFFにし (例.スタンバイモードになる)、ディスプレイカバーを開いたときに、また点灯するマイクロスイッチを採用しています。



外部モニタを接続する場合、ディスプレイカバーを閉じれば、コンピュータはディスプレイをOFF (スタンバイモードにはなりません) にします。

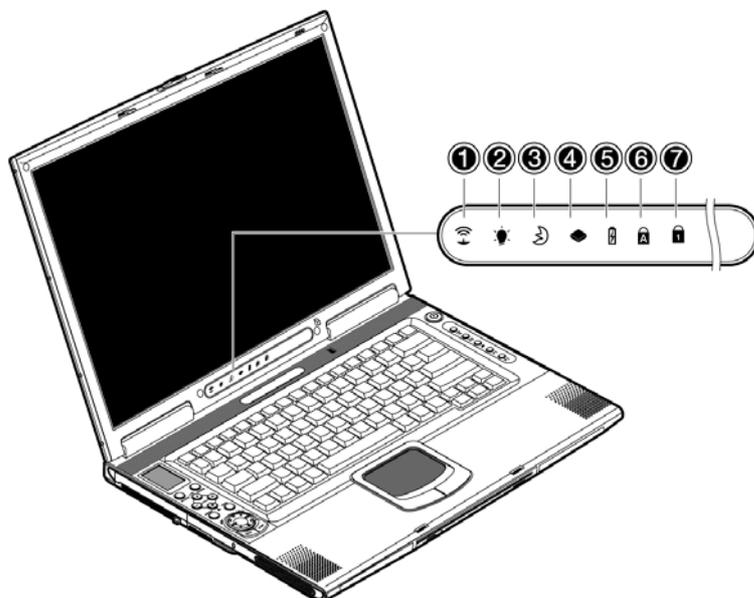
ディスプレイカバーを閉じるには、ディスプレイカバーラッチが正位置でカチッというまで静かに折りたたんでください。



注意: ディスプレイを傷つけないように、閉じるときにボタンと閉じないください。また、ディスプレイを閉じた状態では、その上に何も物を置かないでください。

## 状況インジケータ

本機には、ディスプレイ画面下に読みやすい状況インジケータ(LED)が7つ付いています。



電源およびスタンバイインジケータは、ディスプレイカバーを閉じても見ることができるため、カバーを閉じている状態で、コンピュータの状況が確認できます。

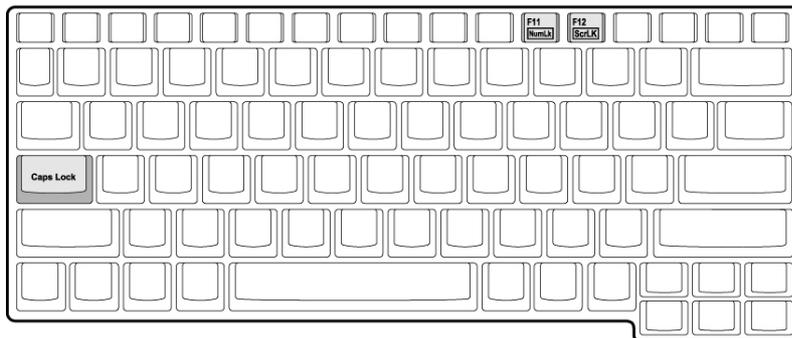
#	項目	アイコン	内容説明
1	無線通信		無線LAN機能が有効になっている場合に点灯する
2	電源		コンピュータ電源が入っている場合に点灯する バッテリー残量が少なくなった場合に点滅する
3	スタンバイ		コンピュータ稼動休止モードの場合に点滅する
4	メディア・アクティビティ		ハードディスクまたはCDあるいはDVDドライブが有効になっている場合に点灯する
5	バッテリー充電		バッテリーの充電中に点灯する
6	Capsロック		Capsロックが有効の場合に点灯する
7	Numロック (Fn-F11)		数字ロックが有効の場合に点灯する

## キーボード

キーボードには、埋め込みキーパッド、個別カーソルキー、2つのWindowsキーおよび12個のファンクションキーを含め、フルサイズキーが装備されています。

### 特殊キー

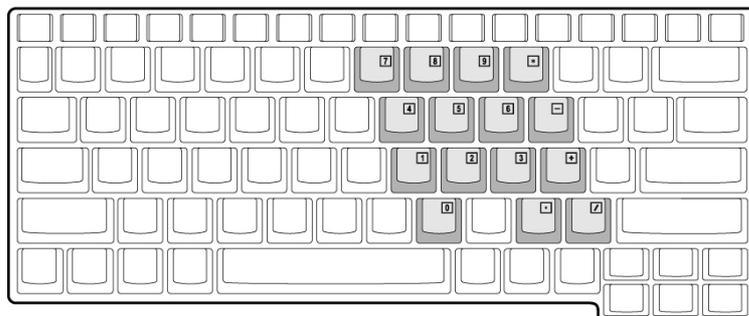
#### ロックキー



キーボードには、トグルスイッチONおよびOFFできるロックキーが3つ付いています。

ロック	内容説明
Capsロック	CapsロックがONの場合、入力したアルファベット文字すべてが頭文字になります。
Numロック (Fn+F11)	NumロックがONになっている場合、埋め込みキーパッドは数字モードになります。 キーは、計算機として機能します(算術演算子は+、-、*、および / を使います)。このモードは、数字データ入力が多い場合に使います。外部キーパッドを接続つけるのが、いちばんいい方法です。42ページ「外付キーボード」を参照してください。
スクロールロック (Fn+F12)	それぞれ または を押します。スクロールロックは、使えないアプリケーションがあります。

## 埋め込み数字キーパッド



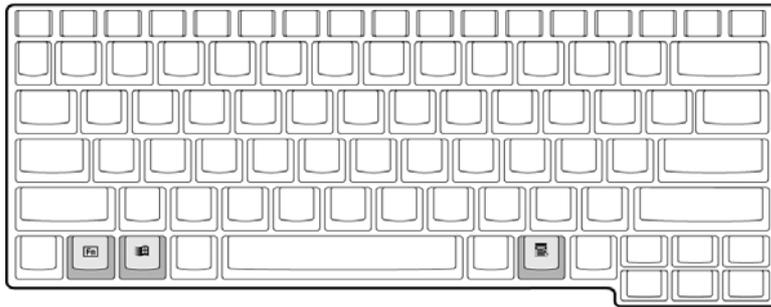
埋め込み数字キーパッドは、デスクトップ数字キーパッドと同様に機能します。キーキャップの上部右端にある小さな文字で表示されます。キーボードのレジェンドを簡素化するために、カーソルコントロールキーシンボルはキーには印刷されていません。

必要アクセス	NumロックON	NumロックOFF
数字キーON 埋め込みキーパッド	通常どおりに数字を入力 します。	
埋め込みキーパッドの カーソルコントロールキー	カーソルコントロールキーを使 いながら、シフトを押します。	カーソルコントロールキーを使 いながらFnを押します。
メインキーボードキー	Fnを押しながら、埋め込みキ ーパッドに文字を入力します。	通常どおりに文字を 入力します。



注意：外部キーボードまたはキーパッドをコンピュータに正しく接続している場合、Numロック機能は自動的に内部キーパッドから外部キーボードまたはキーパッドにシフトします。

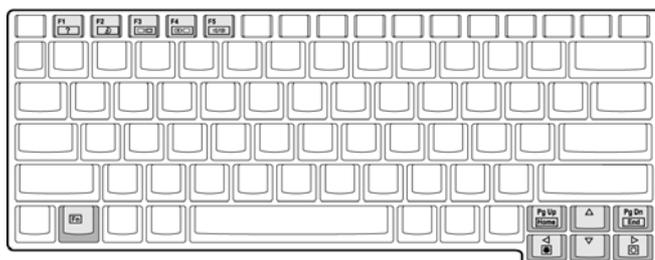
## Windowsキー



キーボードには、Windows専用機能を実行するキーが2つ装備されています。

キー	内容説明
Windowsロゴキー	<p>[スタート]ボタン このキーと組み合わせて、特殊機能を実行します。次に例をいくつか示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>+ Tab (次の[タスクバー]ボタンが起動します)</li> <li>+ E (マイコンピュータを検索します)</li> <li>+ F (ドキュメントを検索します)</li> <li>+ M (すべてを最小化します)</li> </ul> <p>シフト ++ M (すべてを最小化を解除します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>+ R ([実行]ダイアログボックスを表示します)</li> </ul>
アプリケーションキー	<p>アプリケーションのコンテキストメニューを開きます (右クリックと同じ)</p>

## ホットキー



本機は、画面コントラストおよび明暗、量出力およびBIOS設定ユーティリティ等ほとんどのコントロールへのアクセスに、ホットキーまたはキーの組み合わせを採用しています。

ホットキー	機能	アイコン	内容説明
Fn-F1	ホットキーヘルプ	?	ホットキーおよびその機能がたくさん表示される
Fn-F2	スタンバイ		コンピュータをスタンバイモードにする。同モードは、電源のアドバンスドセクションを通じて定義できる。 Windowsコントロールパネル内の管理プロパティ
Fn-F3			ディスプレイグルスイッチが、ディスプレイ画面、外部モニタ(接続されている場合)およびディスプレイ画面と外部モニタ両方の間の出力を表示する
Fn-F4	画面空白		ディスプレイ画面のバックライトをOFFにして、電源を省力化する どれかキーを押して、戻る
Fn-F5	スピーカーON/OFF		スピーカーをONおよびOFFにするか、音声を消す
Fn-PgUp	明暗度アップ		明暗度アップで、画面が明るくなる
Fn-PgDn	明暗度ダウン		明暗度ダウンで、画面が暗くなる

### ホットキーを有効にする

ホットキーを有効にする場合、ホットキーの組み合わせで他のキーを押す前にFnキーを押し続けます。

## キーボード人間工学設計

キーボードの下にある、広く曲がったパームレストは、人間工学を配慮して設計され、入力する場合に手が置きやすいようにしてあります。

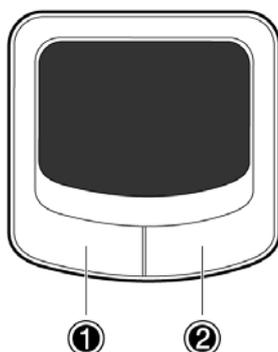


## タッチパッド

内臓タッチパッドは、表面で手の動きを感じ取るポイントデバイスです。タッチパッドの表面で指を動かせば、カーソルが反応するということです。パームレストの中央部分は、置きやすさと支えが最適になっています。



## タッチパッドの基本



次の項目は、タッチパッドの使用方法になります:

- タッチパッドに指を横切らせ、カーソルを移動させます。
- タッチパッドの端にある左(1)および右(2)ボタンを押して、機能を選択および実行します。これら2つのボタンは、マウスの左および右ボタンを同様です。タッチパッドに触れるても、結果は同じです。

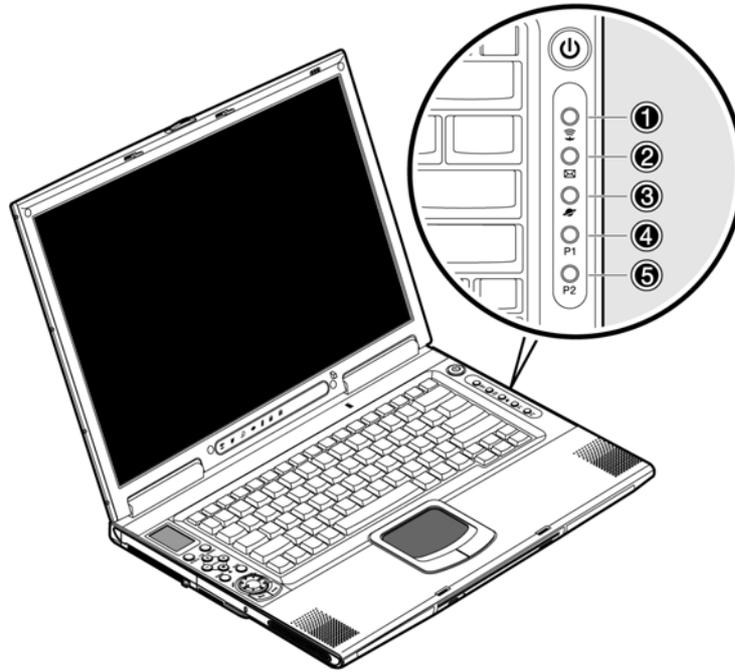
機能	左ボタン	右ボタン	タップ
実行	すばやく2回クリックします。		2回タップします(マウスのボタンをダブルクリックすると同じくらいの速さで)
選択	1回クリックします。		1回タップします。
ドラッグ	クリックして押したまま、指を使って、タッチパッド上のカーソルをドラッグします。		2回タップし(マウスボタンをダブルクリックするのと同じくらいの速さで)、2回目のタップでタッチパッドで指を押さえたまま、カーソルをドラッグします。
アクセス コンテキストメニュー		1回クリックします。	



注意: タッチパッドを使用する場合は、指を乾燥させ、綺麗にしておいてください。タッチパッドも乾燥して綺麗にしてください。タッチパッドは、指の動きに敏感です。そのため、タッチが軽いほど、反応がよくなります。強くタップしすぎると、タッチパッドの反応がよくなりません。

## 多機能ボタン

キーボードの上部に使用頻度の高いアプリケーションの開始に使う開始キーがあります。



#	項目	アイコン	内容説明
1	無線通信		このボタンは、無線LAN機能を有効または無効にするために使います。
2	Eメール		メールボタンは、Eメールアプリケーションを起動するために使います。
3	インターネットブラウザ		デフォルトで、インターネットブラウザを起動するのに使います。
4	P1		このボタンは、ユーザープログラマブルです。
5	P2		このボタンは、ユーザープログラマブルです。

## ストレージ

このコンピュータには、次のメディアストレージが装備されています。

- 高容量、拡張IDEハードディスク
- スロット負荷またはトレイタイプDVD/CD-RW コンボドライブ
- 固定デジタル(SD)スロット
- オプション外部USB3.5インチフロッピドライブ

### ハードディスク

高容量ハードディスクが、ストレージニーズの答えです。ここには、プログラムおよびデータを保管します。

### 光学ドライブ

高速光学ドライブ(DVD/CD-RWコンボドライブ)で、ポータブルマルチメディアアクセスができ、同時にデータをCD-Rディスクに焼付けできます。

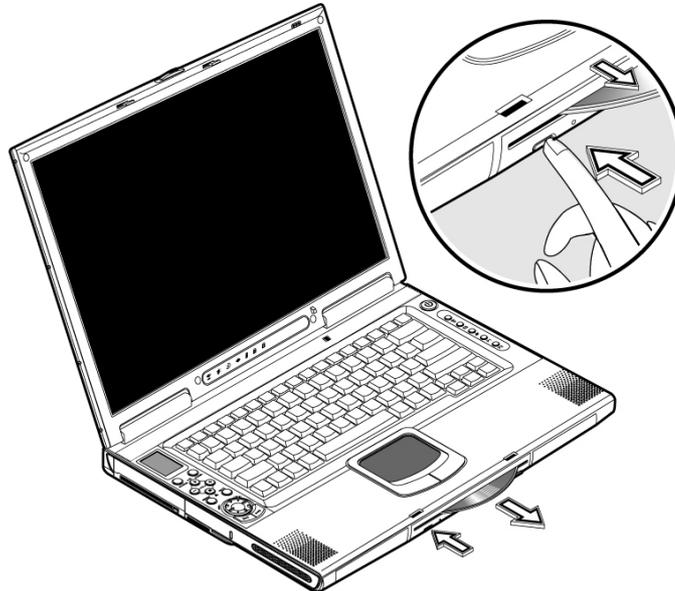
### ディスクの挿入

本機は、光学ドライブを装備しています。光学ドライブにディスクを挿入するには、ディスクをスロットにやさしく挿入します。自動でディスクは中に引き込まれます。



## ディスクの取り出し

スロットからディスクを取り出すには、イジェクトボタンを押して、ドライブがディスクを取り出すのを待ちます。



## DVDムービーの再生

お使いのコンピュータでDVDムービーを再生するには、DVDディスクをドライブに挿入するだけで、数秒後DVDムービーが自動的に再生されます。

**重要!** DVDプレイヤーをはじめて使用する場合、プログラムが地域コードを入力するよう聞いてきます。DVDディスクは6地域に分かれています。DVDドライブに地域コードを設定すると、その地域用のDVDディスクを再生します。地域コードは最大5回設定でき、最後に設定した地域コードがそのまま残ります。ハードディスクを回復しても、地域コードを設定した回数はリセットされません。DVD地域コード情報については、下表を参照してください。

地域コード	国または地域
1	アメリカ合衆国、カナダ
2	ヨーロッパ、中東、南アフリカ、日本
3	東南アジア、台湾、韓国
4	ラテンアメリカ、オーストラリア、ニュージーランド
5	旧ソビエト連邦、アフリカの一部地域、インド
6	中華人民共和国

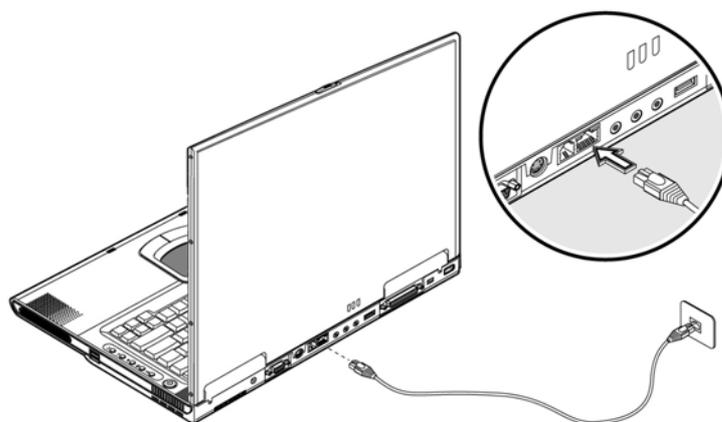
**注意:** 地域コードを変更するには、地域の異なるDVDムービーをDVD-ROMドライブに挿入します。詳細は、オンラインヘルプを参照してください。

## 接続オプション

本機には、ネットワークに接続および他のコンピュータと通信する機能が装備されています。

### イーサネットとLAN

内蔵ネットワーク機能を使うことで、コンピュータをイーサネットベース(10/100 Mbps)ネットワークに接続することができます。ネットワーク機能を使用するには、本機の裏にあるネットワークジャックからイーサネットケーブルをネットワークジャックまたはお使いのネットワークのハブに接続します。



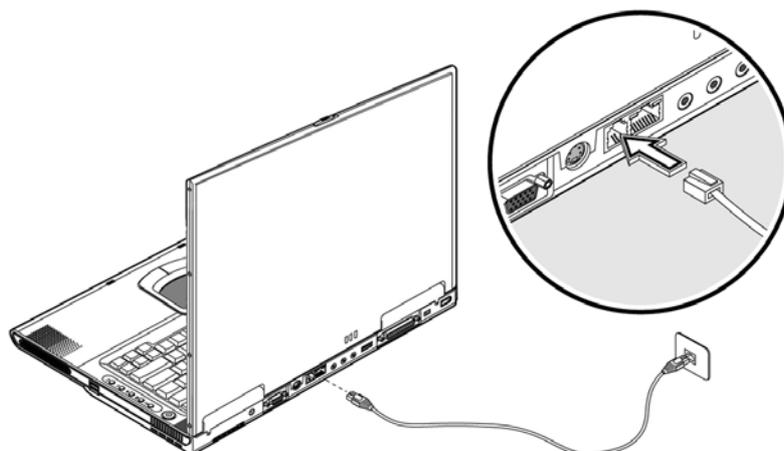
### Fax/データモデム

本機には、内蔵fax/データモデムが装備されています(特定国で利用可能)。



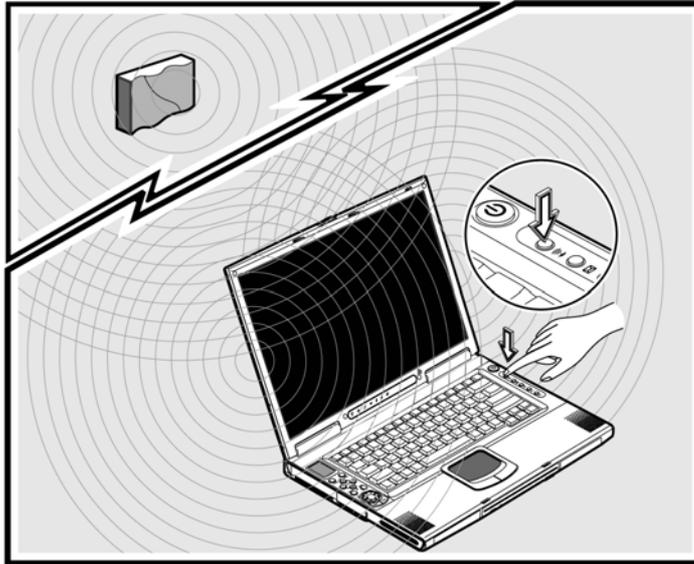
.....  
警告：このモデムポートは、デジタル電話回線との互換性がありません。  
このモデムをデジタル電話回線につなぐと、モデムが破損することがあります。

Fax/データモデムポートを使用するには、電話ケーブルを電話ジャックに接続します。



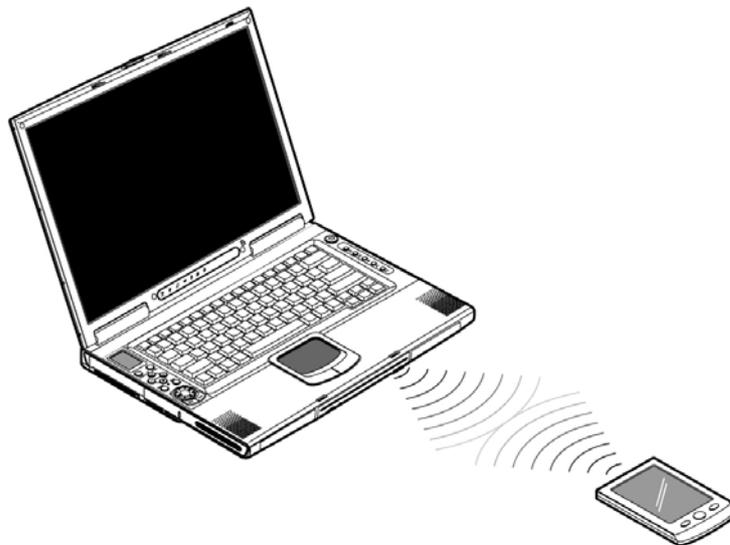
## 無線通信

本機には、無線通信機能が内蔵されています。この機能を使うことで、他の無線通信デバイスと通信することができます。無線通信機能の電源を、手動で切ることができます。



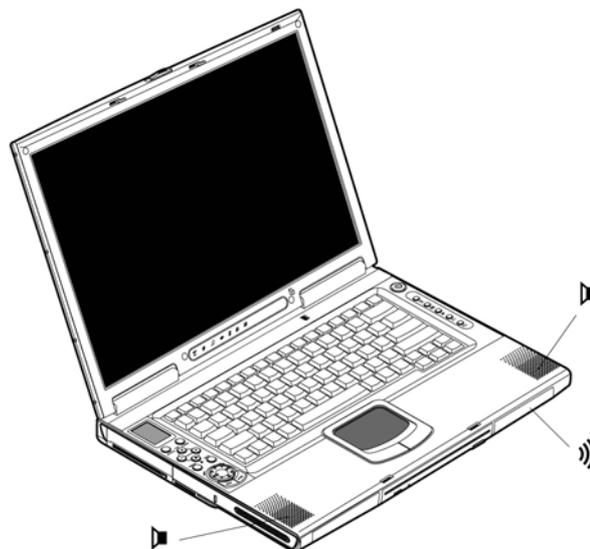
## 高速赤外線

本機の高速赤外線 (FIR) ポートを使うことで、他のIR認識コンピュータおよびPDA (パーソナルデジタルアシスタンス) 等の周辺機器、携帯電話および赤外線プリンタと無線データ転送を行うことができます。赤外線ポートでは、最大1メートルの距離まで、最大速度4 Mb/sでデータ転送ができます。FIRを使用するには、2つのIR認識デバイスを、IRポートが互いに1メートル離れ、15度の角度になるように、配置します。2つのコンピュータを配置する場合は、通常どおりデータ転送を開始するだけです。詳細は、ファイル転送ソフトウェアを参照してください。



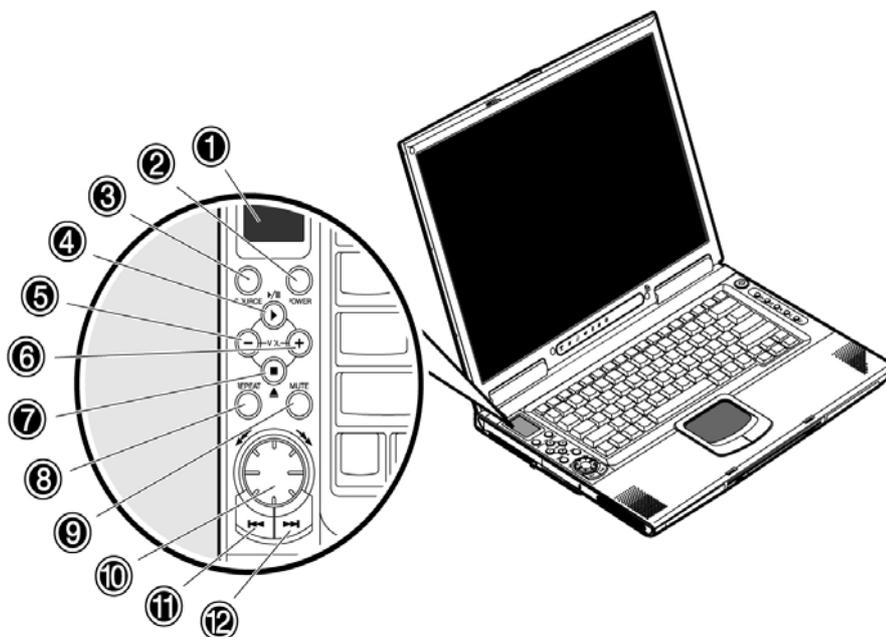
## オーディオ

本機には、16ビットHi-Fiステレオオーディオが搭載されています。キーボード近くのスピーカーは、直接、音を届け、音声出力を拡張します。本機の裏パネルには、オーディオポートがあります。これらポートの場所については、10ページ「裏からの図」を参照してください。外部オーディオデバイスの接続についての詳細は、41ページ「オーディオデバイス」も参照してください。本機には、正面にサブウーファが付いています。サブウーファの場所については、8ページ「正面図」を参照してください。



## AVコントロール・パネル

AVコントロールパネルは、本機の特長機能です。このAVコントロールパネルでは、オーディオ/ビデオCD、DVD、MP3およびSDメディアを再生できます。

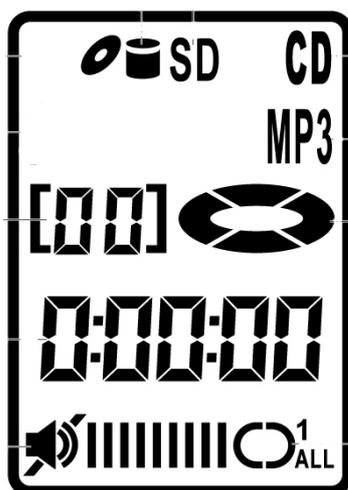


#	項目	アイコン	内容説明
1	LCD ディスプレイ		液晶ディスプレイ (LCD) には、現在のメディア状況が表示されます。
2	電源ボタン	<b>電源</b>	AV コントロールパネルの電源を ON または OFF にします。
3	ソースボタン	<b>ソース</b>	再生ソース (CD/DVD、ハードドライブディスクまたはSDメモ리카ード) を選択します。
4	再生/一時停止ボタン	<b>▶/  </b>	メディアの再生を再生および一時停止します。
5	音量ダウンボタン	<b>—</b>	再生中のスピーカー音量を下げます。
6	音量アップボタン	<b>+</b>	再生中のスピーカー音量を上げます。
7	停止/イジェクトボタン	<b>■ ▲</b>	CD/DVD-ROM ディスクの再生を停止または取り出します。
8	リピートボタン	<b>リピート</b>	オプションを選択します。繰り返さないか、現在再生中のトラックを繰り返すか、再生中のトラックすべてを繰り返します。
9	消音ボタン	<b>消音</b>	スピーカーから出る音を消します。
10	高速巻戻し/高速早送りダイヤル	<b>↶ ↷</b>	このダイヤルを使って、現在再生中のトラックを高速巻戻しするか、高速早送りします。
11	前トラックボタン	<b>⏮</b>	再生リストの前のトラックにジャンプします。
12	次トラックボタン	<b>⏭</b>	再生リストの次のトラックにジャンプします。

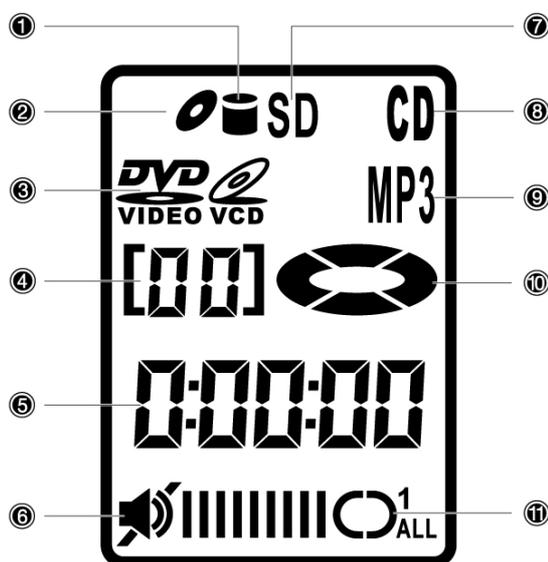
### AVコントロールパネルLCD画面について

AVコントロールパネルLCD画面には、コンピュータで再生中のオーディオ/ビデオメディアに関連した情報すべてが表示されます。

#### 本機の電源がOFFで、メディア再生している場合



#### 本機の電源がONで、メディア再生している場合



#	項目	内容説明
1	ハードドライブ	ハードドライブのファイルを再生していることを表します。
2	CD	CD を使用中であることを表します。
3	ビデオ	DVD またはビデオ CD を再生中であることを表します。
4	トラック番号	どのトラックで再生しているかを表します。
5	経過時間	トラックが再生した時間数を表します。
6	音量/消音	音量および消音したかどうかを表します。
7	SD メモリカード	SDメモリカードのファイルを再生していることを表します。
8	CD 再生インジケータ	CD を使用中であることを表します。
9	MP3 再生インジケータ	MP3 ファイルを再生中であることを表します。
10	再生経過インジケータ	再生の経過を表します。
11	リピートインジケータ	再生中のメディアを繰り返さないか、1 トラック繰り返すか、または全トラックを繰り返すかを表します。

## ミュージックプレーヤーの使用

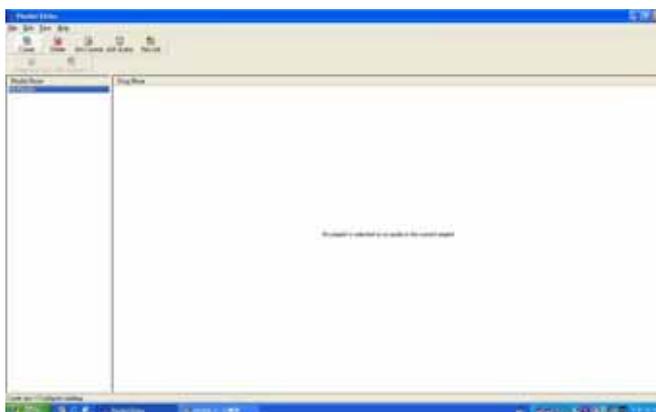
N601のAVコントロールパネルを使用すると、ノートブックPCの電源がオンでもオフでも、CD-Rs、DVD-Rs、SDメモ리카ード、ハードドライブに格納されたMP3とWMAファイルを再生できます。ディスクとSDメモ리카ードをノートブックPCに挿入し、オーディオプレーヤーコントロールを使用して再生することができます。ノートブックPCの電源がオフになっている間に音楽を再生すると、AVコントロールパネルが役に立つ機能を搭載していることにお気づきになられるはずです。

### 電源オフモードでのミュージックファイルの再生

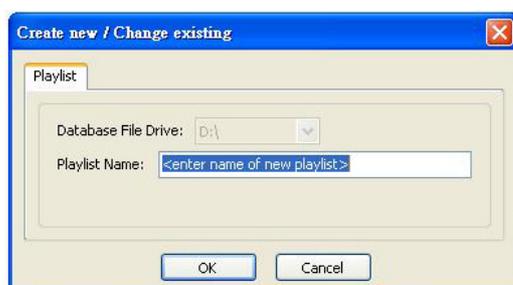
#### ハードドライブにミュージックファイル用のプレイリストを作成:

ハードディスクに格納されているミュージックファイルを再生するには、ミュージックファイル用のプレイリストを作成する必要があります。

1. マイコンピュータまたは Windows Explorer を使用して、再生したいミュージックファイルを D:ドライブの任意のディレクトリにコピーまたは移動し、ミュージックファイル用のプレイリストの作成を開始します。
2. **Start**, **All Programs** をクリックし、**SMI Bluebird Playlist Editor** をクリックします。プレイリストエディタ(Playlist Editor)画面が開きます。



3. **Creat** をクリックします。新規プレイリストの作成/既存プレイリストの変更ダイアログボックスが表示されます。プレイリスト名ボックスにプレイリストの名前を入力し、OK をクリックします。



4. **Add Audio** をクリックします。開くダイアログボックスが開きます。
5. プレイリストに追加したいファイルをクリックし(複数のファイルを選択するには、**Ctrl** キーを押し下げながらクリックします)、**OK** をクリックします。ミュージックファイルが曲名欄に表示されます。

**注:** **Ctrl**キー方式を使用している場合、曲の順番を指定することはできません。曲の順番を指定するには、一度に一つの曲をプレイリストに追加してください。

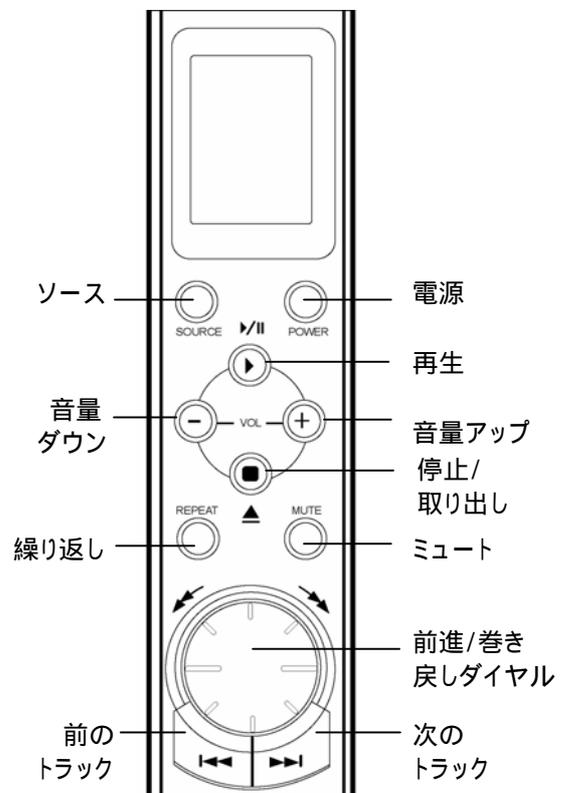
6. 複数のプレイリストがある場合は、**プレイリスト名(Playlist Name)**欄の最上部にあるプレイリストが再生されます。異なるプレイリストを現在のプレイリストとして設定するには、プレイリストをクリックし、**Set Current** をクリックします。強調表示されたプレイリストが**プレイリスト名**欄の最上部に移動します。

**注:** SMI Bluebirdプレイリストエディタは、ノートブックPCに付属する初期値のプレイリストエディタです。システムをフォーマットすると、プレイリストエディタプログラムは失われます。最新のBluebirdプレイリストエディタユーティリティは、GigabyteのWebサイトからダウンロードできます。ハードディスクでミュージックファイルを再生するには、FAT32またはFAT16フォーマットパーティションにミュージックファイルを格納する必要があります。NTFSフォーマットパーティションでファイルを格納すると、プレイリストは機能しません。

**ハードディスク、SDメモリ、CD-Rでプレイリストを再生するには、次の手順に従います:**

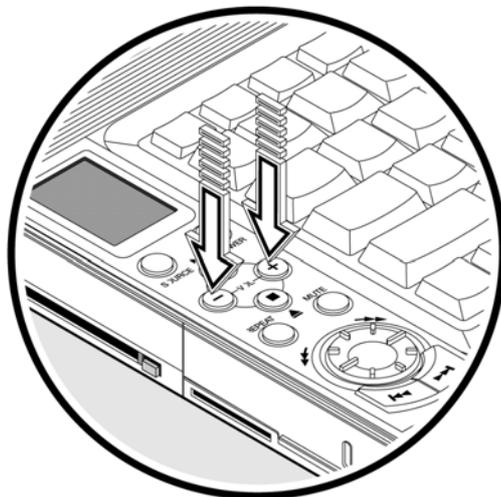
1. CD-R、DVD-R、SDメモリカードを再生している場合、ディスクまたはカードを挿入します。
2. ノートブックPCの電源をオフにします。
3. コントロールパネルで**POWER (電源)** ボタンを押して、ミュージックプレーヤーをオンにします。
4. **SOURCE (ソース)** ボタンを押して、ミュージックファイルの場所を選択します。メディアソースが複数ある場合、「CD」、「SD」、「HD」(円筒形アイコンは液晶パネルを示します)などのさまざまな場所に切り換えることができます。ノートブックPCがディスクを検出するには、数秒かかります。
5. **PLAY (再生)** ボタンを押して、ミュージックの再生を開始します。

**注:** 前進/巻き戻しダイヤルは、電源オフモード下の前へ/次へボタンと同じように機能します。



## 音量調整

本機の音量調整は、いくつかボタンを押すだけで簡単にできます。AVコントロールパネルのマイナス(-)ボタンを押して、スピーカー音量を下げるか、プラス(+)ボタンを押して、音量を下げます。



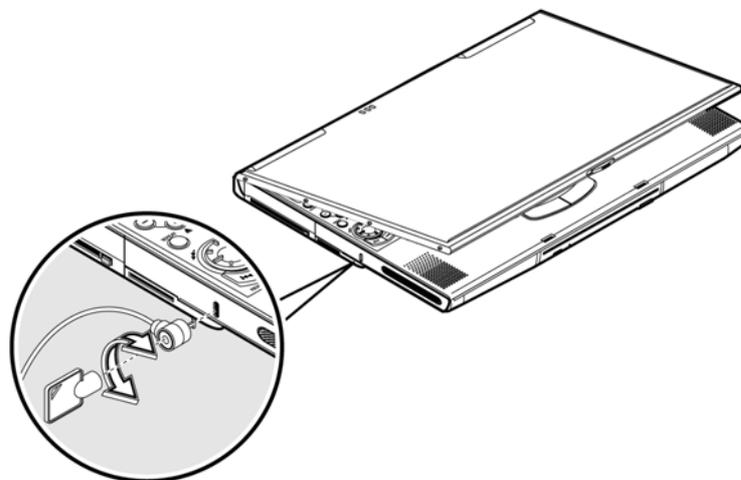
## コンピュータの安全保護

安全保護機能には、ハードウェアおよびソフトウェアロック - 安全保護ノッチおよびパスワードが含まれます。

### 安全保護ノッチ

本機の左パネルにある安全保護ノッチで、ケンジントン互換コンピュータ安全保護ロックに接続します。

テーブル等の動かない物体またはロックされた引き出しの取っ手の周辺にコンピュータ安全保護ロックを取り付けます。ロックをノッチに挿入し、キーを回してロックを固定します。キーなしモデルも利用できます。



## パスワード

パスワードで、コンピュータを不許可アクセスから保護します。設定されている場合、正確なパスワードを入力しなければ、本機には誰もアクセスできません。

設定できるパスワードには3種類あります。

- パスワードの設定により、BIOSユーティリティに対する不正エントリまたは使用から保護されます。
- 電源オンパスワードにより、コンピュータを不正使用から保護します。
- ハードディスクパスワードにより、ハードディスクに対する不正アクセスを防止し、データを保護します。



重要：設定およびハードディスクパスワードを忘れないようにしてください！パスワードを忘れた場合、取扱店または公認サービスセンターにお問い合わせください。

### パスワードの設定

BIOSユーティリティを使って、パスワードを設定できます。

# 2

## バッテリー電源の操作

本機は、ACまたはバッテリー電源で作動します。本章では、バッテリー電源で本機を作動させるのに必要な情報について記載しています。また、コンピュータの電源管理および省電力化方法についての情報も記載しています。

## バッテリーパック特性

バッテリーパックには、次の特性があります。

- 現在のバッテリー技術基準を採用

本機は、ニッケルカドミウム (NiCd) バッテリーのようにメモリに影響を与える問題がないリチウムイオンパックを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、一貫してバッテリー寿命が長く、携帯使用に最適です。

- 低バッテリー警告

バッテリー充電レベルが低くなると、本機の状況インジケータが一定間隔で点滅します。これで、バッテリー充電レベルがかなり低くなっていること(作業の保存が必要であること)を示します。バッテリーパックを充電することで、この状況は回復できます。

通常、ACアダプタを使用してください。旅行や停電の場合、バッテリーは携帯できます。バックアップで、完全充電したバッテリーをもう1つ持つておくことをお勧めします。

## はじめてバッテリーパックを使う

バッテリーパックをはじめて使う場合は、次の手順にしたがってください。

1. 電源と本機にACアダプタを接続し、バッテリーを完全充電します。
2. アダプタを取り外し、再充電する前に使い切ります。

この手順は、新しいバッテリーまたは長期間使用せずに保管してあったバッテリーについて、1度または2度だけ行えば十分です。本機を2週間以上保管しておく場合は、バッテリーパックを取り外すことをお勧めします。完全充電したバッテリーパックからのバッテリー電源は、本機のスタンバイモードで約1日、使用休止モードまたは電源をOFFにした状態では1ヶ月で消耗します。



.....

**警告:** バッテリーパックは、0 (華氏32 )以下60 (華氏140 )以上のところにさらさないでください。バッテリーパックに大きな悪影響を与えることがあります。

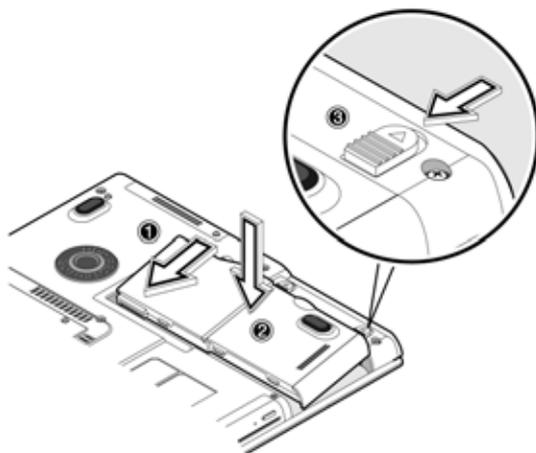
## バッテリーパックの取付けと取り外し



**重要!** バッテリーパックを取り外す前に、本機にACアダプタを接続されていることを確認してください。接続されていない場合、本機の電源が切れてしまいます。

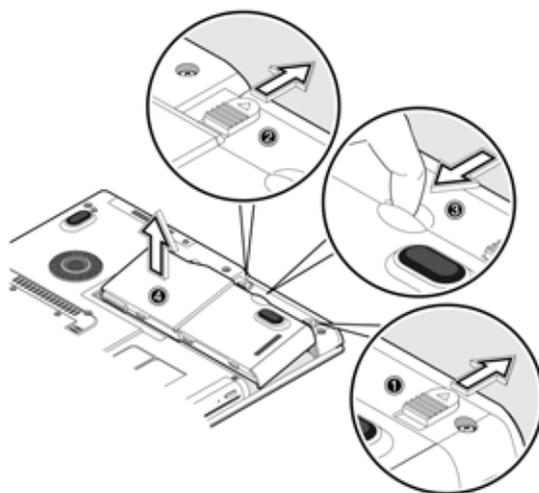
### バッテリーパックの取付け:

角度を付けてバッテリーを挿入し(1)、バッテリーが正しい位置にカチッとハマるまで(2)押し込みます。次に、ロック/ロック解除ラッチをロック位置にスライドさせます(3)。



### バッテリーパックの取り外し:

ロック/ロック解除ラッチをロック解除位置(1)にスライドさせ、バッテリーリリースラッチをスライドさせ(2)、バッテリーパックの内臓スロットを使って、バッテリーパックを取り外します(3)。



## バッテリーの充電

バッテリーを充電するには、バッテリーパックを取り付け、ACアダプタを本機および電気コンセントに差し込みます。

### 充電モード

アダプタには、2つの充電モードがあります：

- 急速モード

本機は、電源をOFFにし、電源ACアダプタを接続すると、急速充電が使えます。急速モードでは、完全消耗バッテリーは、約1.5時間で95%充電できます。

- 使用中充電モード

本機をACアダプタに差し込んで使用している場合、コンピュータにバッテリーパックを取り付けると充電することもできます。このモードでは、急速モードより完全充電まで長い時間がかかります。使用中モードでは、完全消耗バッテリーは、約4時間で95%充電できます。



注意：バッテリーパックは前日に充電することをお勧めします。これで、翌日完全充電したバッテリーを使うことができます。

### バッテリーレベルの確認

Windowsバッテリーメーターは、現在のバッテリーレベルを表示します。タスクバーのバッテリーメーターアイコン(またはACプラグ)の上にカーソルを置くだけで、現在のバッテリーの充電レベルを確認することができます。

### バッテリー寿命の最適化

このセクションでは、バッテリー操作について説明します。バッテリー寿命の最適化で、充電/放電のサイクルが延び、放電効率が改善されます。次の方法にしたがって、バッテリー電源を最適化および最大化してください：

- 別のバッテリーパックを購入する
- できるかぎり、ACアダプタを使い、バッテリーが使用中のコンピュータで保持できるようにする
- ACアダプタを電源で使用中に、バッテリーパックを本機に入れておく。常時充電が少しずつ行われ、バッテリーレベルが維持され、バッテリーの自己放電作用が軽減されます。使用中充電機能でもバッテリーパックの充電はできます。
- PCカードが電力を使うので、使用しない場合は、カードスロットからPCカードを抜き出します。42ページ「カードを取り出す」を参照してください。
- バッテリーパックは、涼しい、乾燥した場所で保管してください。バッテリーパック保管に適切な温度は、摂氏10 ~ 30 です。保管温度が高いほど、バッテリーの自己消費時間は早くなります。
- 直接使用する場合、バッテリーは、約400回再充電可能です。過剰な再充電はバッテリー寿命を縮めるとなります。
- バッテリーパックとACアダプタの取扱には注意してください。序章4ページの「取扱とメンテナンス」を参照してください。

## 低バッテリー警告

ACアダプタを使用している場合は、バッテリー電源の心配はいりません。しかし、本機をバッテリー電源で作動させる場合は、ディスプレイパネルの電源インジケータに特にご注意ください。低バッテリー状態では、電源インジケータが、バッテリー電源が消耗しきるまで一定間隔で点滅します。



**警告!** できるかぎり早く、ACアダプタを本機に接続してください。スタンバイモードでコンピュータ電源がOFFになると、データが失われます。

下表は、低バッテリー状態になった場合の措置として推薦されるものを表します。

状況	推薦される措置
ACアダプタおよび電源コンセントが利用できる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ACアダプタを本機に接続する</li> <li>2. 必要なファイルすべてを保存する</li> <li>3. 作業を回復する</li> </ol> バッテリーを急速に充電する場合は、本機の電源を切る
もう1つの完全充電バッテリーパックが利用できる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要なファイルすべてを保存する</li> <li>2. アプリケーションを終了する</li> <li>3. 本機の電源を切る</li> <li>4. バッテリーパックを交換する</li> <li>5. 本機の電源を入れ、作業を回復する</li> </ol>
ACアダプタまたは電源コンセントが利用できない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要なファイルすべてを保存する</li> <li>2. アプリケーションを終了する</li> <li>3. 本機の電源を切る</li> </ol>

## 電源管理

本機には、システム作動を監視する内臓電源管理ユニットが装備されています。システム作動は、次の1つ以上のデバイスを管理するアクティビティを参照にします。キーボード、マウス、フロッピードライブ、ハードディスク、シリアルおよびパラレルポートに接続された周辺機器およびビデオメモリ。一定期間、作動状態が何も検出されない場合は(非作動タイムアウトと称する)、コンピュータはエネルギーを省力化するために、これらのデバイスのいくつかまたはすべてを停止します。

本機は、ACPI(アドバンスドコンフィギュレーションおよび電源インターフェース)をサポートする電源管理スキームを採用し、最大電源保存および最大パフォーマンスが同時に可能となります。Windowsは、本機の電源省力化機能すべてを取り扱うこととなります。

## アドバンスドコンフィギュレーションおよび電源インターフェース

アドバンスドコンフィギュレーションおよび電源インターフェース(ACPI)は、Compaq/Intel/Microsoft/Phoenix/Toshibaが共同開発した電源管理仕様です。ACPIで、Windowsが本機に取り付けられた各デバイスが持つ電力量をコントロールできるようになります。ACPIによって、Windowsは、使用していない場合に周辺機器の電源を切り、電力を省力化します。



注意：電源管理でバッテリー寿命が延びることができるようにすることを推奨します。詳細は、Windowsのヘルプを参照してください。

# 3

## 周辺機器およびオプション

本機は、内臓ポートおよびコネクタによって、拡張機能に優れています。本章では、本機を使いやすくする周辺機器およびハードウェアオプションの接続方法について記載します。

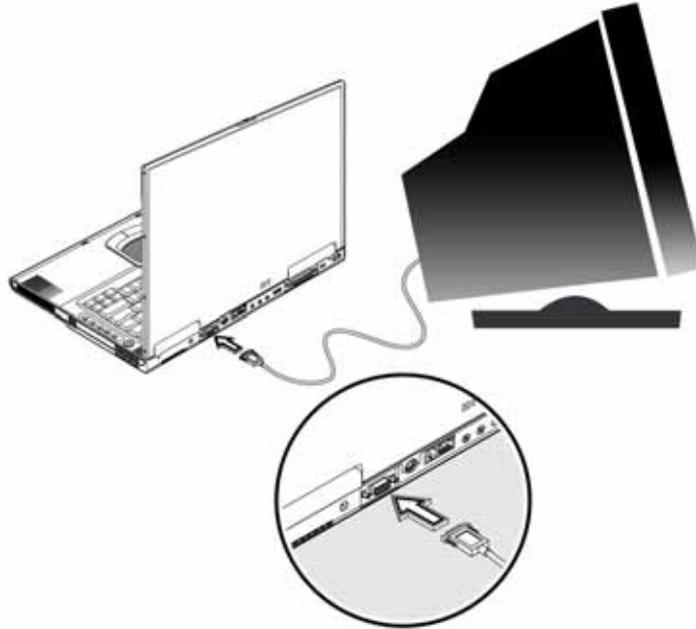
周辺機器を接続する場合、操作指示に関して、周辺機器とともに梱包されているマニュアルをお読みください。

これらオプションおよびその他オプションは、公認取扱店から直接購入することができます。

本章では、主要コンポーネントのアップグレード方法についてもセクションを設けています。主要コンポーネントがアップグレードできるためコンピュータを最新技術で使用することができます。

## 外部モニタ

CRTポートに、外部モニタを接続することができます。詳細指示については、モニタマニュアルをお読みください。



注意：外部モニタを接続しない場合は、ディスプレイカバーを閉じると、コンピュータはスタンバイモードになります。

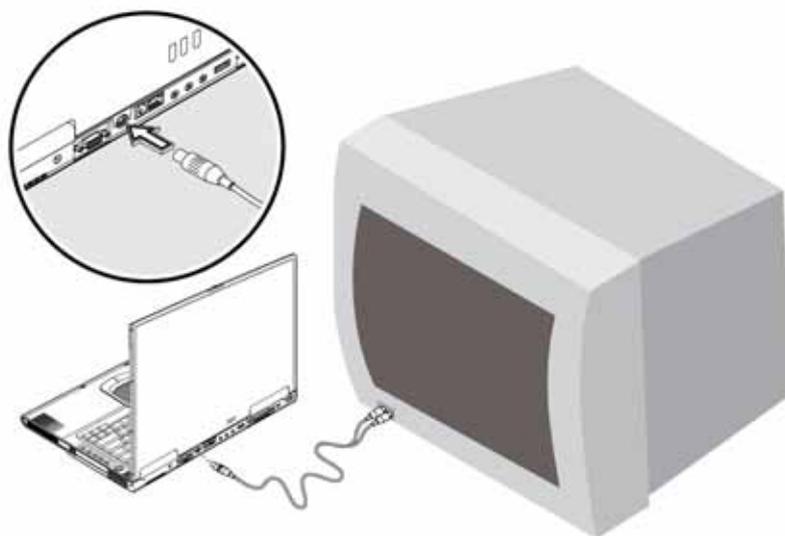
## 同時ディスプレイを使う

本機は、Windowsマルチディスプレイ機能を利用し、プレゼンテーション目的で本機を使用することができます。コンピュータに表示される内容は、同様に、他の外部ディスプレイにも表示されます。

同時ディスプレイを使用は、CRTポートから他のディスプレイデバイスを本機に接続することで可能となります。

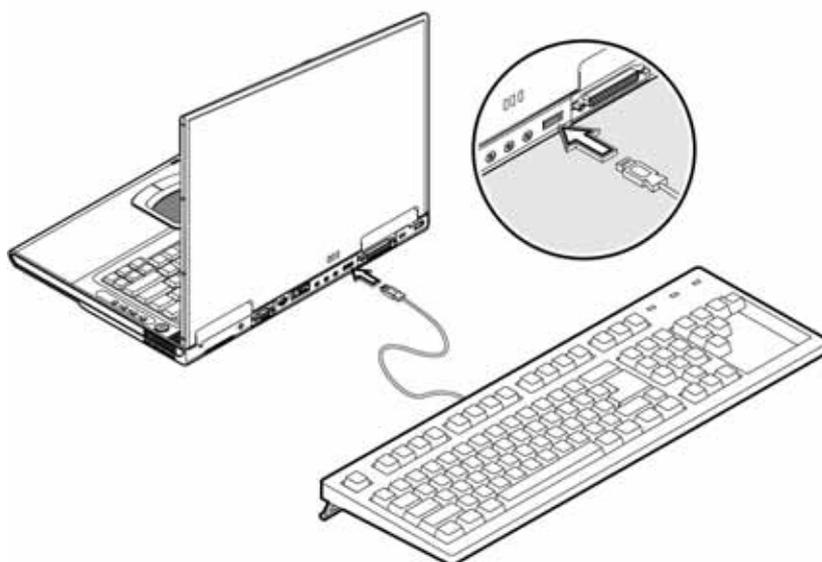
## S-ビデオ

S-ビデオポートで、S-ビデオ入力をサポートするテレビまたはディスプレイデバイスへの出力ができます。プレゼンテーションをする場合に、これは重要になります。



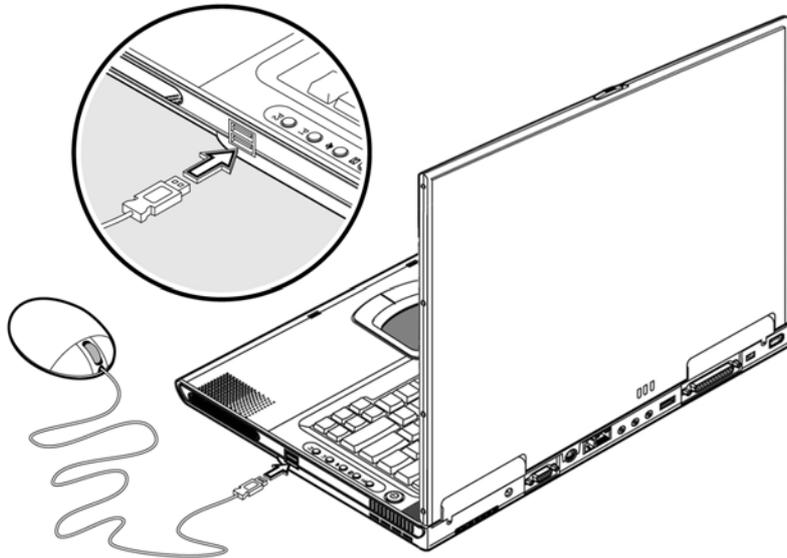
## 外付キーボード

本機には、フルサイズキーおよび埋め込みキーパッド付のキーボードが付いています。デスクトップキーボードをより快適に使用する場合は、USB外付キーボードに接続することができます。外付キーボードに接続するには、外付キーボードをUSBポートに差し込みます。



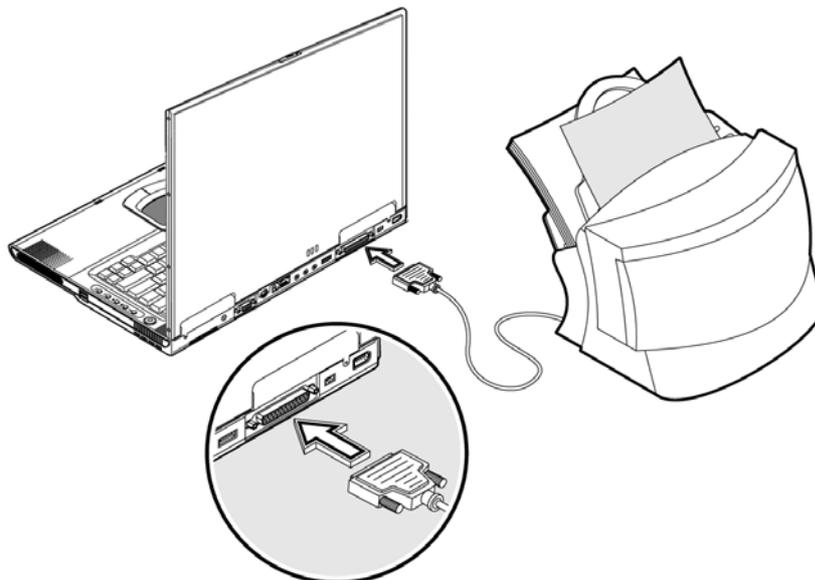
## 外部ポイントデバイス

本機では、USBマウスまたは同様のポイントデバイスを装着することができます。



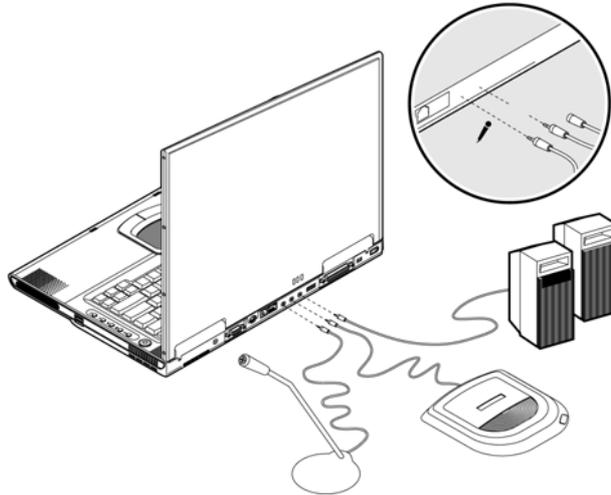
## プリンタ

コンピュータポートにはプリンタを接続することもできます。操作指示については、プリンタマニュアルを参照してください。



## オーディオデバイス

オーディオデバイスは、本機の裏側からアクセスしやすいオーディオポートで、簡単に接続できます。外部マイクをマイクジャックに差し込むことができます。オーディオラインインデバイスはラインインジャックに差し込みます。増幅スピーカーまたはヘッドフォンは、ラインアウトジャックに接続します。



サブウーファは、本機正面にあります。サブウーファの場所については、8ページ「正面」を参照してください。サブウーファモジュールは、低周波音を運び、バスブーストを提供し、特定の特殊効果音に、爆発や列車等のゴロゴロという振動音を作ります。

## PCカード

本機には、タイプII PCカード1つを搭載できる内蔵CardBus PCカードスロットが装備されています。本機用に購入できるPCカードオプションについては、最寄の取扱店にご相談ください。

### PCカードスロット

本機の左パネルにあるタイプII CardBus PCカードスロットは、使用性および拡張性を拡大するクレジットカードサイズのカードを入れることができます。

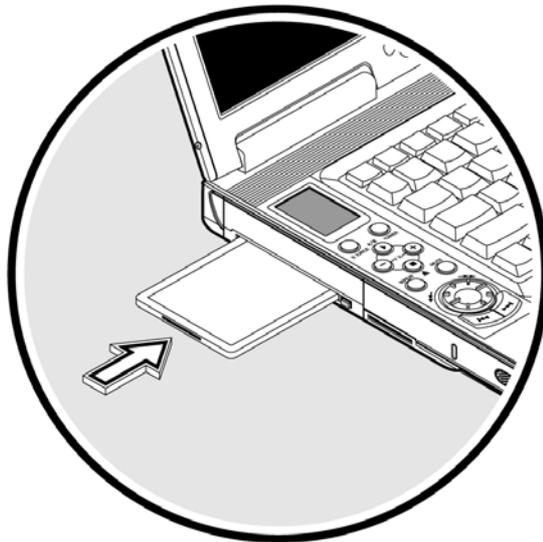
PCカード(正式にはPCMCIA)は、ポータブルコンピュータ用のアドオンカードで、デスクトップPCが長い間必要としてきた拡張ができるようになります。人気のタイプIIカードには、フラッシュメモリ、SRAM、fax/データモデム、LANおよびSCSIカードが含まれています。CardBusは、データパスを32ビットに拡張することで、16ビットPCカード技術を改善します。



注意：カードおよびその機能の取付方法および使用方法についての詳細は、カードマニュアルを参照してください。

## カードの挿入

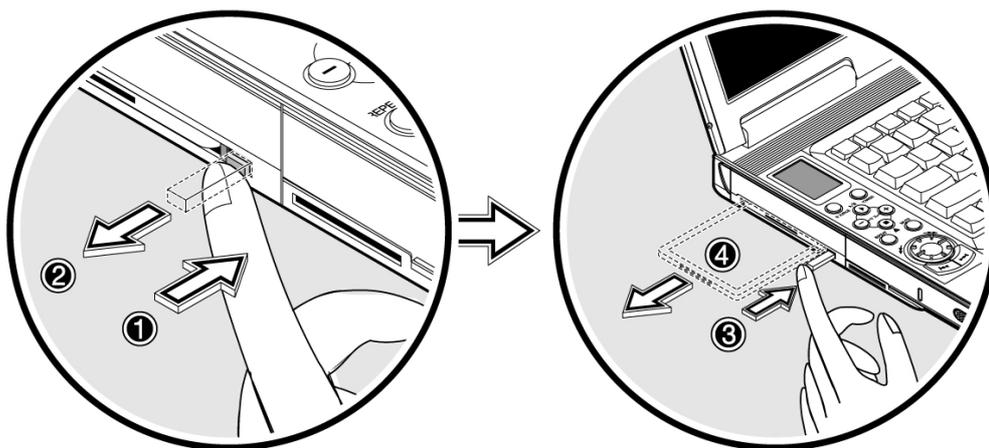
カードをスロットに挿入し、必要な場合は適切な接続をします(例.ネットワークケーブル)。詳細は、カードマニュアルを参照してください。



## カードの取り出し

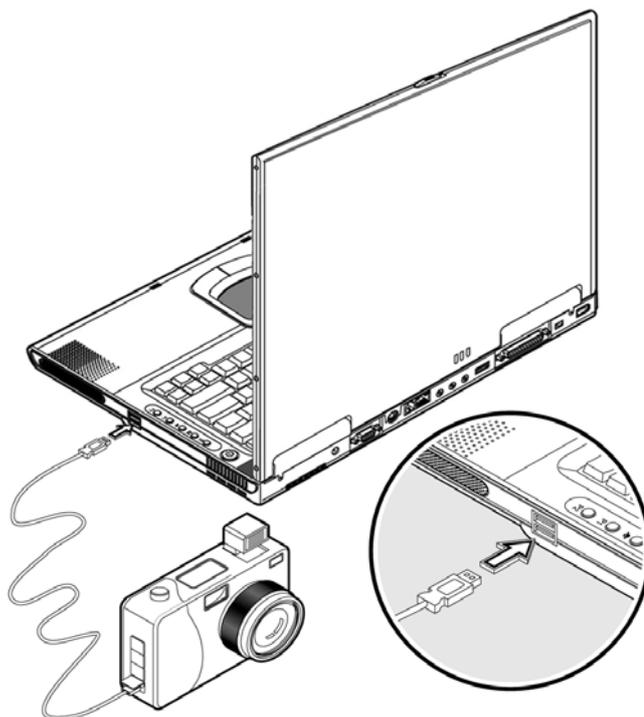
PCカードを取り出す前に:

- カードを使うアプリケーションを終了します。
  - タスクバー上のPCカードアイコンを左クリックして、カード操作を停止します。
- スロットイジェクトボタンを一度押して、引き出し、もう一度押してPCカードを取り出します。



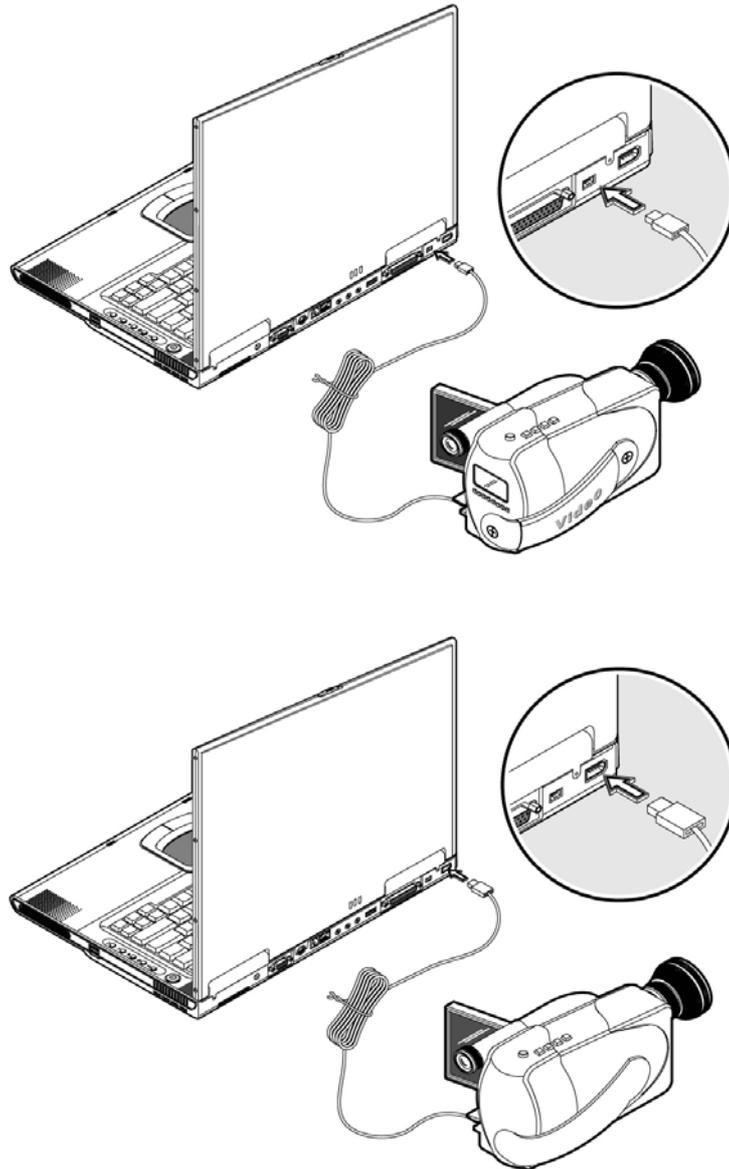
## USBデバイス

本機には、2つのUSB(ユニバーサルシリアルバス)ポートが装備され、リソースを多く使うことなく、周辺機器を接続することができます。共通USBデバイスには、マウス、キーボードおよびデジタルカメラがあります。



## IEEE 1394デバイス

本機の高速度IEEE 1394ポートで、デジタルカメラまたは光学ドライブ等IEEE 1394 サポートデバイスを接続することができます。本機には、2種類のIEEE 1394ポート、より柔軟性を高めるために4ピンおよび6ピンが装備されています。



詳細は、周辺機器マニュアルを参照してください。

## その他のオプション

### 追加電源パック

ACアダプタおよび予備バッテリーは注文することができます。

### バッテリーパック

特に旅行の場合など、予備バッテリーを持っておくことをお勧めします。

リチウムイオンバッテリーは、本機の電源管理機能とあわせて、使用中の電力を強化します。

### ACアダプタ

コンパクトなACアダプタで、バッテリーパックを充電し、コンピュータに電力補給します。予備のACアダプタを注文することができるため、勤務先から自宅または目的地へと持ち歩く必要はありません。

## 主要コンポーネントのアップグレード

本機は、電力およびパフォーマンスに優れています。しかし、ユーザーおよび各ユーザーが使用するアプリケーションには、それ以上必要な場合があります。本機では、パフォーマンスを増強する場合に主要コンポーネントをアップグレードできます。



注意：主要コンポーネントをアップグレードする場合は、最寄の公認取扱店にお問い合わせください。

### メモリのアップグレード

本機には、2つのDDR-266 SoDIMM(小型デュアルインラインメモリモジュール)ソケットが装備され、128/256/512 MBの同期ダイナミックランダムアクセスメモリ(SDRAM)モジュールを収容できます。追加メモリが必要な場合は最寄の取扱店にご相談ください。

### ハードディスクのアップグレード

ストレージスペースの拡張が必要な場合、ハードディスクを高容量ドライブにアップグレードできます。本機では、9.5mm 2.5-inch拡張IDEハードディスクを使用しています。ハードディスクのアップグレードが必要な場合は最寄の取扱店にご相談ください。

# 4

## コンピュータを携帯して使用する

本章では、本機を携帯して、または旅行先で使用する場合の注意点について考えます。

## デスクトップから外す

次の手順で、外部アクセサリからコンピュータを外します。

1. 作業中の内容を保存する
2. オペレーティングシステムをシャットダウンする
3. 本機の電源を切る
4. ACアダプタからコードを外す
5. キーボード、ポイントデバイス、プリンタ、外部モニタおよびその他外部デバイスを外す
6. 本機の安全保護にケンシントンロックを使用している場合は、外す

## 持ち歩く

近いところに持ち歩く場合、たとえば、勤務先デスクから会議室

### 本機を準備する

本機を持ち出す前に、ディスプレイカバーを閉じラッチして、スタンバイモードにします。これで、建物内では、どこでも本機を安全に持ち運ぶことができます。

本機をスタンバイモードから立ち上げる場合は、ディスプレイを開きます。

### 短い会議に持ち出す

バッテリーが完全充電状態であれば、たいていの環境では、本機は4.5時間稼動します。

会議がそれより短い場合、本機以外に持ち出す必要はないでしょう。

### 長い会議に持ち出す

会議が、4.5時間以上、またはバッテリーが完全充電されていない場合、ACアダプタを携帯し、会議室のコンセントにつながます。

会議室に、電源コンセントがない場合は、本機をスリープモードにして、バッテリーのドレインを低減させます。Fn-F2を押すか、本機を本格的に使用しない場合はディスプレイカバーを閉じます。次に、キーをどれか押して、ディスプレイを開き、回復させます。

## 本機を自宅に持ち帰る

勤務先から自宅に、または自宅から勤務先に持っていく場合

## 本機を準備する

デスクトップから本機を外してから、次の手順にしたがって、自宅に帰るために本機の準備を整えます。

1. ドライブからメディアをすべて取り外す。メディアを取り外さないと、ドライブヘッドが破損することがあります。
2. 本機を保護ケースに入れ、本機が前後左右にスライドしないようにし、落ちる可能性がある場合はクッションを入れます。



注意：本機のトップカバーの横にアイテムを入れないようにしてください。トップカバーへの圧力がかかり、画面が破損することがあります。

## 持っていくもの

自宅にいくつかアイテムがすでにない場合は、次のアイテムを持っていきます。

- ACアダプタおよび電源コード
- ユーザーズマニュアル冊子

## 特殊事項

次の手順にしたがって、自宅往復する際のコンピュータを保護します。

- 本機を常に携帯することで、温度変化の影響を最小限にする
- 期間を延長して、さらに滞在し、本機を持ち帰ることができない場合、本機を車のトランクに保管し、過度な熱に当てないようにする
- 温度および湿度変化は液化の原因になることがある。本機を室内温度に戻し、コンピュータの電源を入れる前に、画面が液化していないかどうかを検査する。温度変化が華氏18（摂氏10）以上の場合、本機をゆっくりと室内温度に戻す。できれば、本機を外気と室内温度の間くらいの温度の環境に30分間放置する

## 自宅オフィスの設定

自宅で本機を使って作業することが多い場合、自宅専用のACアダプタをもう一個を購入する価値はあります。もう一個のACアダプタがあれば、自宅を往復の際に荷物の重量が少し減ることにもなります。

コンピュータを大部分の時間を自宅で使用する場合、外付キーボード、モニタまたはマウスを追加したほうがいいかもしれません。

## 本機を旅行先に携帯する

長い距離を携帯して移動する場合、たとえば、勤務先のビルから顧客のビルまたは地方に旅行にする

### 本機を準備する

自宅に持ち帰るように、本機の準備をします。本機のバッテリーが充電されていることを確認してください。空港セキュリティで、ゲートを通る際に電源を入れるように指示されることがあります。

### 持っていくもの

次のアイテムを持っていきます。

- ACアダプタ
- 予備の完全充電したバッテリーパック
- 別のプリンタを使う場合は追加プリンタドライバ

### 特殊事項

本機を自宅に持ち帰る際のガイドラインに加え、次のガイドラインにしたがって移動中のコンピュータを保護します。

- 本機は必ず携帯バッグに入れて運ぶ
- できれば、本機を手で検査してもらい 本機はセキュリティX線機を通過しても問題はありませんが、本機を金属探知機に当てさせないでください。
- フロッピーディスクをハンドヘルド金属探知機に当てさせないようにしてください。

## 本機を国外に携帯する

国外に持ち出す場合

### 本機を準備する

移動の際に通常するように本機を準備します。

### 持っていくもの

次のアイテムを持っていきます。

- ACアダプタ
- 移動先国に合った電源コード
- 予備の完全充電したバッテリーパック
- 別のプリンタを使う場合は追加プリンタドライバ

## 特殊事項

本機を持ち運ぶ場合と同じ特殊事項にしたがってください。さらに、次の項目は、国外に移動する際に役立ちます。

- 別の国に移動する場合、各地のAC電圧およびACアダプタ電源コード仕様の互換性を確認します。確認しない場合、各地のAC電圧(例:電源定格)と互換性のある電源コードを購入します。本機の電源供給する電気具に対応して販売されているコンバータキットは使用しないでください。
- モデムを使用している場合、モデムおよびコネクタが移動先の国の通信システムと互換性があるかどうかを確認します。

# 5

## トラブルシューティング

本章では、共通のシステム問題の対処方法について説明します。問題が発生した場合、技術者を呼ぶ前にこの対処方法をお読みください。より難しい問題に対しての対処方法には、本機の中を開かなければなりません。本機は、ご自身で開いて修理しないでください。最寄の取扱店または公認サービスセンターにお問い合わせください。

## よくある質問

これは、本機を使用中に発生する状況について一覧にまとめ、それらに対する回答と解決方法を提示したものです。

### 電源スイッチを押しても、コンピュータが起動しないか、または立ち上がらない。

電源インジケータを見てください。

- 点灯していない場合は、コンピュータに電源が入っていません。次の項目を確認してください。
  - バッテリー電源で作動させている場合、バッテリーが低くなりコンピュータを立ち上げることができないことがあります。ACアダプタを接続して、バッテリーパックを再充電してください。
  - ACアダプタがコンピュータおよび電源コンセントに適切につながっていることを確認してください。
- 点灯している場合、次の項目を確認してください。
- スタンバイインジケータが点灯している場合、コンピュータはスタンバイモードになっています。どれかキーを押すか、タッチパッドをタップして、回復させます。
- 起動しない(非システム)ディスクがフロッピードライブに入っていますか？ フロッピーを取り出すか、システムディスクと交換して、Ctrl-Alt-Delを押し、システムを再起動します。

オペレーティングシステムファイルが破損しているか、失われているかもしれません。Windows設定で作成した起動ディスクをフロッピードライブに挿入して、Ctrl-Alt-Delを押してシステムを再起動します。これで、システムを診断して、必要な修正を行います。

### 画面に何も表示されない。

コンピュータの電源管理システムが画面を自動的に暗くし、電力を省電力化します。どれかキーを押して、ディスプレイを元に戻します。

キーを押しても、ディスプレイが元に戻らない場合、2つの原因が考えられます。

- 明暗レベルが極端に低くなっている。Fn- およびFn- を押して、明暗レベルを調整します。
- ディスプレイデバイスが外部モニタに設定されている可能性がある。ディスプレイグルホットキー Fn-F3を押して、ディスプレイをコンピュータのものに戻します。

### 画像が全画面にならない。

解像度がシステムがサポートする解像度になっていることを確認してください。Windowsデスクトップを右クリックし、[プロパティ]を選択して[ディスプレイプロパティ]ダイアログボックスを立ち上げます。次に、[設定]タブをクリックして、解像度が適切な解像度に設定されていることを確認します。解像度が指定解像度より低い場合は、コンピュータ上または外部モニタ上で全画面にはなりません。

### コンピュータから音声が流れない。

次の項目を確認してください:

- 音量が消音になっている。Windowsでは、タスクバーの音量コントロールアイコンを見てください。×印が付いている場合は、アイコンをクリックし、[消音]オプションを選択解除します。
- スピーカーの電源がOFFになっている。Fn-F5を押して、スピーカーをONにします(このホットキーはスピーカーをOFFにもできます)。
- 音量レベルが極端に低くなっている。Windowsでは、タスクバーの音量コントロールアイコンを見てください。アイコンをクリックして、レベルを調整します。

ヘッドフォン、イヤフォンまたは外付スピーカーがコンピュータの裏パネルのラインアウトポートに接続されている場合、内部スピーカーは自動的に電源OFFになります。

#### **外部マイクが作動しない。**

次の項目を確認してください:

- 外部マイクを本機の裏パネルのマイクインジャックに接続されていることを確認してください。
- 再生音が聞こえない場合は、スピーカーが消音になっていることがあります。

#### **キーボードが反応しない。**

本機裏のUSBコネクタに外部キーボードを取り付けてみてください。

それで反応があれば、内部キーボードケーブルが緩んでいることが考えられるので、取扱店または公認サービスセンタにお問い合わせください。

#### **プリンタが作動しない。**

次の項目を確認してください:

- プリンタが電源コンセントに接続され、電源がONになっていることを確認してください。
- プリンタケーブルが本機のポートおよびプリンタ対応ポートにしっかりと接続されていることを確認してください。

#### **内部モデムを使用する場所を設定したい。**

通信ソフトウェア(例.HyperTerminal)を適切に使用するには、場所の設定が必要です。

1. Windowsコントロールパネルを開き、モデムアイコンをダブルクリックします。
2. [ダイヤルプロパティ]をクリックし、場所の設定を開始します。

Windowsマニュアルを参照してください。

#### **95～99%充電状態で、どうしてバッテリーを100%充電状態できないのか？**

バッテリーの寿命を保存するため、システムは容量が95%以下になった場合にのみバッテリー充電を行います。しかし、もう1つのバッテリーを携帯し、充電前にシステムのバッテリーが電力を使い切る事を推奨します。

# 仕様A

この付録には、本機の一般仕様が記載されています。

### マイクロプロセッサ

- 拡張Intel® SpeedStep™ テクノロジー付Mobile Intel® Pentium® M Processor

### メモリ

- 2 DDR-266/333 SoDIMM付2048MBまでアップグレード可能なオンボードメモリ
- 1MB(1024K) オンダイL2キャッシュ

### データストレージ

- 高容量、拡張IDEハードディスク1つ
- スロット負荷またはトレイタイプDVD/CD-RW コンボドライブ
- 固定デジタル(SD)スロット

### ディスプレイおよびビデオ

- 15.4" 16:10 SXGA (スーパー拡張グラフィックアレイ)TFT LCDパネル
- 1280x800 (SXGA)解像度、1670万色
- CSP 64 MB DDR 付ATI® Mobility™ Radeon™ 9600 高性能グラフィックチップセット
- 同時LCDおよびCRTディスプレイ
- デュアルディスプレイサポート
- LCDパネルは、最大解像度2048x1536までサポート
- VGAモニターは、最大解像度2048x1536までサポート
- 埋め込みTVエンコーダは、TVアウト用最大解像度1024x768までサポート

### オーディオ

- 内臓スピーカーおよびマイク
- 音声ブラスタブロおよびWindows音声システム互換性
- 内臓サブウーファ
- ラインイン/マイクインおよびラインアウト(S/PDIF)デバイス用個別オーディオポート

### キーボードおよびポイントデバイス

- 84-/85-/88-キーWindowsキーボード
- 人間工学設計のタッチパッドポイントデバイス

### I/Oポート

- タイプ II/I CardBus PCカードスロット1つ
- RJ-11電話ジャック(V.92)
- RJ-45ネットワークジャック(イーサネット10/100)
- パラレルポート1つ
- S-ビデオジャック1つ
- 外部モニタポート(DDC 2.0)1つ
- ラインアウト (S/PDIF) (3.5mmミニジャック)1つ
- オーディオラインイン/マイクインジャック (3.5mmミニジャック)1つ
- USBポート(2.0)3つ
- IEEE 1394ポート 4ピン1つおよび6ピン1つ
- 内蔵ワイヤレスLAN (802.11b)

### 重量と寸法

- 3.1 kg (6.9 lbs)
- 354 x 255 x 35 mm (13.93 x 10.04 x 1.38 in.)
- 環境温度
  - 作動中 5 °C ~ 40 °C (41 °F ~ 104 °F)
  - 非作動中 -10 °C ~ 65 °C (23.8 °F ~ 149 °F)
- 湿度 (非濃縮)
  - 作動中 20% ~ 80% RH
  - 非作動中 20% ~ 80% RH

### オペレーティングシステム

- Windows XP

### 電源

- バッテリーパック
  - 59.2-ワット時リチウムイオンバッテリーパック
  - 2.5時間急速充電/4時間使用中充電/完全充電後、4-4.5時間の電池寿命
- ACアダプタ
  - 70ワット
  - 自動センサー100~240Vac, 50-60Hz

### オプション

- 128/256/512/1024 MB DDR 266/333 SoDIMM メモリアップグレードモード
- 追加ACアダプタ
- 2次バッテリー
- スロットインDVD/CD-RWコンボドライブ
- オプションマウス